
2025年度
インターンシップ体験報告書

三重県立石薬師高等学校

校長挨拶

本校では、生徒一人ひとりが自らの人生を見つめ、主体的に進路を選び、将来を切り拓いていける力を育むための独自のキャリア教育プログラム「サクラサク・プラン」に取り組んでいます。このプログラムは、高校3年間を通じて段階的にキャリア意識を高めていく体系的なものであり、その要の一つが、2年次に実施するインターンシップであります。

今や社会は急速に変化し、働き方や求められる力も多様化しています。そのような時代にあって、私たちが育てたいのは、知識や技能だけでなく、「社会につながる力」を備えた生徒たちです。つまり、自ら考え、行動し、人と協働しながら、地域や社会に貢献できる人材です。本校のキャリア教育は、まさにそのような力を育むことを目指しています。

今年度のインターンシップにおいても、地域の多くの事業所の皆様にご理解とご協力をいただき、生徒たちは実際の職場で貴重な体験を積むことができました。卒業生の約8割が就職する本校にとって、このインターンシップは、生徒が社会の一員としての自覚を持ち、自らの進路に向けて現実的な視点を養う絶好の機会となっています。

慣れない環境の中、生徒たちは緊張しながらも懸命に仕事に取り組みました。与えられた仕事に責任を持って取り組むことの大切さ、「報連相」を徹底することの意味、時間や約束を守ることの重みなど、そうした当たり前のようで奥深い「働く力」「人と関わる力」を、実践を通して学ぶことができました。

また、受け入れ先での経験を通して、「将来は地元で貢献できる仕事がしたい」「人と接する仕事に就きたい」「今の自分に足りない力を知った」など、生徒の声からは深い学びと自己成長が感じられました。インターンシップは、単なる職場体験ではなく、自分の将来を真剣に考えるきっかけとなる、かけがえのない時間であったと確信しております。

こうした学びの場を実現することができたのは、ひとえにインターンシップを受け入れてくださった事業所の皆様のお力添えによるものです。お忙しい中にもかかわらず、生徒を温かく迎え入れ、丁寧にご指導くださった皆様に、心より感謝申し上げます。皆様のご支援があったからこそ、生徒たちは社会につながる実感を得ることができました。

本校は今後も、「社会につながる力を身につけ、地域社会に貢献できる人材が育つ学校」として、地域との連携を大切にしながら、よりよい教育を推進してまいります。引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、本校生徒に貴重な学びの場を提供してくださったすべての受け入れ事業所の皆様に、改めて深く感謝申し上げますとともに、皆様のますますのご発展とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

令和7年10月

三重県立石薬師高等学校 校長 山本 勇人

目 次

1. インターンシップの概要	4
----------------------	---

2. 生徒の体験感想文	5
-------------------	---

有限会社 今井硝子	5
出光ユニテック株式会社 三重工場	5～6
住友ファーマ株式会社 鈴鹿工場	6～7
三田工業株式会社	7～8
工業化成株式会社 鈴鹿工場	8
株式会社ミヤノ	8～9
株式会社タチエス鈴鹿工場	9
株式会社SANKI	10
ティ・エス・パーツアンドサービス株式会社	10
ジャスト物流株式会社	11
シキボウ株式会社鈴鹿工場	11～12
三洋自動車株式会社	12～13
株式会社ホンダ四輪販売三重北 (HondaCars 三重北)	13～15
株式会社ホンダカーズ三重	16～17
ネッツトヨタノヴェル三重株式会社	17
鈴鹿インター株式会社	17～18
四日市物流サービス株式会社	18
センコー株式会社 三重支店	18～19
有限会社 浜村工務店	19
須賀 株式会社	19
株式会社ハンエイ	20
株式会社 日館建設	20
衣笠土木有限会社	21
学校法人享栄学園鈴鹿大学	21～22
養護老人ホーム 南山	22
社会福祉法人あけあい会	23
医療法人 博仁会 村瀬病院 グループ	24
(有)おおえのきトータルヘルスケア (株)ウエルジュ	24～25
有限会社あーきぺんこ	25
REMIX	25～26
有限会社小原本舗大徳屋長久	26～27
鈴鹿ストーリーホテル	27～28
株式会社鈴鹿ハンター	28
株式会社一号館	28
株式会社まるかつ	29

株式会社ぎゅーとら	30
株式会社オーヴァーホールディングス	30
株式会社 クスハラ自動車	31
マックスバリュ東海株式会社	31～32
スーパーサンシ株式会社	32～33
鈴鹿森林組合	33
鈴鹿市立牧田保育所	33～34
鈴鹿市立西条保育所	34
鈴鹿市立深伊沢保育所	35
鈴鹿市立算所保育所	35
鈴鹿市立玉垣保育所	35～36
鈴鹿市立河曲保育所	36～37
白鳩保育園	37～38
椿大神社	38～39
竹野の森こども園（社会福祉法人 愛児の会）	39～41
自衛隊三重地方協力本部	41

3. 生徒アンケートの集約結果.....42

1. インターンシップの概要

- (1) 実施時期と期間 令和7年7月22日(火)～26日(土)の内3日間
(2) 対象者 2学年
(3) 時間帯 9:00～15:30 または事業所指定の時間帯
(4) 内容 生徒が希望した職種で就業体験を行う
(5) 実施に至る日程

No	内 容	実施時期
①	実習先事業所開拓	2月～4月
②	インターンシップガイダンス	4月30日(水)
③	インターンシップ参加希望調査実施	5月上旬
④	第1回事前学習	5月26日(月)
⑤	第2回事前学習	6月2日(月)
⑥	第3回事前学習	6月4日(水)
⑦	第4回事前学習	6月11日(水)
⑧	生徒による事前訪問	6月25日(水)～7月4日(金)
⑨	第5回事前学習	7月7日(月)
⑩	直前学習	7月18日(金)
⑪	インターンシップ実習	7月22日(火)～26日(土)
⑫	事後学習	7月28日(月)

〈有限会社 今井硝子〉

体験学習をする前に、一つ一つとても丁寧に教えてもらって、とてもありがたく、感謝してもしきれません。今井さんの息子さんは友達みたいで話しやすかったけれど、仕事をしているときはとってもかっこよく、たくましく見えました。また、他の周りの人たちも優しく接してくれて、とても体験しやすかったです。今井硝子さんの仕事は一つひとつ違う場所で、そこも今井硝子さんのいいところだと心から思いました。インターンシップは、最初はあまり気が進まなかったけど、今井硝子さんのみなさんがとても優しくかったので、とても楽しいインターンシップになりました。車を3人で乗ったのも楽しくて、面白かったです。体験で鈴鹿サーキットに行ったのも、とても楽しく、思い出になりました。正直、3日間が長いと思っていたけど、楽しかったし、おもしろかったので、あっという間に終わってしまいました。ガラスを切ったこともかなり印象的な思い出になり、楽しむことができました。また機会があれば、お会いしたいと思います。

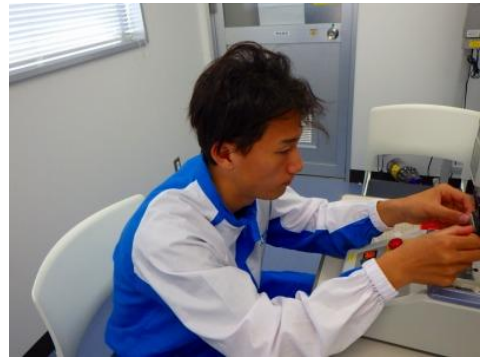
インターンシップに行く前は、名前に硝子とついている会社だったので硝子の修理や取り付けだけだと思っていたけど、網戸の交換や取り付け、扉の修理などをしていて驚いた。一日目の午前では、若松小学校にいったけどあまりできることがなかったので頑張ろうと思った。午後は、障害者施設のガラス交換をしていてそこではいろいろな作業ができたので、いい経験になって良かった。特に、扉を外すのが大変だった。二日目の午前では、鈴鹿医療科学大学に行って扉を外したりしていてすごかった。大きい扉だったのでとても重くて大変だった。午後は鈴鹿サーキットに行き、へこんだガラスやヒビが入ったガラスに被せるものをして楽しかった。三日目の午前では、ガラスの切断や網戸の網の取り換えをして楽しかった。午後は家に行って網戸の取り付けをして楽しかった。会社の雰囲気もよくて丁寧に教えてもらえて良かった。特にガラスの切断が難しかったけど楽しかった。普段できないことができて良かった。



〈出光ユニテック株式会社 三重工場〉

僕は貴重なインターンシップに行かせていただきました。初めて出勤したときはすごく緊張しましたが、職場の方々がとてもあたたかく、とても楽しい職場体験となりました。いろいろな話を聞き、一人ひとりルールをしっかり守ることは会社の印象やお客様の信頼などにも繋がってることがわかりました。信頼がないと買ってくれないかもしれません。危ないことはみんなに共有することで、大きな怪我をなくし、なるべく0にする工夫がされていました。2日目は、フィルム、シート、ジッパーテープを作っているところを見ました。生産管理、品質管理は重要だということがわかりました。ジッパーテープに色がついていたり、パレットによって触り心地や形が全然違っていたりしました。ジッパーテープのパチパチの部分を見る検査のところは重要だと思いました。不良品が出ていないか、お客様が要望する商品の規定になっているかを確認しないといけませんでした。ジッパーテープはオスとメスがあ

り、機械を使って引っ付けて製品が完成していました。外から中に入る時エアーが気持ちよかったです。3日目、ジッパーテープの開閉の力をたくさん調べました。水を入れても漏れないか検査をしました。検査はとても楽しかったです。スーパーでジッパーテープがついている商品を買に行きました。出光ユニテック株式会社さんがほぼ作っていることがわかりました。



〈住友ファーマ株式会社 鈴鹿工場〉

今回のインターンシップ体験を通して私は様々なことを学びました。まず、医薬品を扱っている会社は一度でも薬を売ってしまうとたとえ赤字だとしても薬を作らなければいけないらしく、薬を売るのはかなりリスクがありとても大変なんだなと思いました。次に、工場には免震装置という装置が何個もあり、それだけで何億円もするらしいのですがそれでも免震装置を設置するには理由があり、もし工場が地震などで倒壊してしまうと、その工場で製造していた薬品を他の工場で作ることは難しいらしく、そうすると製造していた薬が必要な人の命に関わるからなのだそうです。とても責任が伴うのだなと思いました。最後に、私は今まで医薬品を製造している会社はほとんどが機会で動いていて結構楽しそうだなと思っていましたが、実際に工場を見学すると人間の力がどうしても必要なところがたくさんあり、とても重い責任も伴うのでとても大変で決して楽な仕事ではないのだなと思いました。

今回の職場体験学習を通して感じたことは2つあります。1つ目は、自分の仕事に対する責任感です。貴社は薬品という人の命に関わる重大な仕事です。自分ひとりがミスをすることによって数百万錠を回収、または廃棄することになってしまうので、慎重に真面目に取り組むことの大切さや、自分一人の仕事に対する責任感を学ぶことができました。2つ目は、努力することの大切さです。僕は勉強が得意なわけでも、手先が特別器用なわけでもありません。だから自分でも自分のことを諦めてしまっている自分がいましたが、貴社で働く人の姿を見て「格好いいな」「僕もここで働きたいな」「僕もこうなりたい」と強く感じました。頑張ろうと努力する人、やる気のある人、勉強を頑張った人、資格を取得している人を採用することが多いと聞き、僕もこれから何事にも努力、挑戦し、資格を取得できるように頑張りたいと思いました。

インターンシップを通して、住友ファーマ株式会社に第一志望で参加出来て良かったです。一番印象に残ったのは料理が美味しかったということです。働いている方々の姿勢がとてもカッコよく、皆さん挨拶がしっかりしていて私も真似したいと思いました。初めて防護服を着た時息苦しさを感じましたが、慣れていくうちに息苦しさを感じなくなりました。機械の操作が難しそうで、特に物が詰まったときに難しそうでした。自分たちが作っている製品が必要な方々の手にとってもらえることが一番のやりがいだと聞き、私も誰かの役に立つことができるように働きたいと思いました。インターンシップを通して、自分のやりたいことが見つかったので、参加して良かったと思いました。あたたかいアドバイスをありがとうございました。住友ファーマの皆様3日間お世話になりました。ありがとうございました。

今回のインターンシップは慣れない環境で大変だったが、貴重な体験ができ将来を考える良い機会になった。事前打ち合わせの時点ではすごく緊張していたが、実際に体験を重ねていくにつれて緊張が解け、楽しく学びがいのあるインターンシップになったと思う。これは皆様が優しく接していただいたことが大きく関わっていると思う。より多くの人に良い医薬品を届けるために効率化を求め、最適化されていて驚いた。また、製剤課のレーンが一つひとつ異なり、それぞれにあった生産をしていて、そういうところまで最適化されていて感心した。

2日間の体験を通して、将来私がどのような企業で働きたいかが見えてきた。また、情報収集が大切だと改めて思った。しかし、現場で働いている人にあまり積極的に質問できなかったのが、悔しい思いでいっぱい。これらの気付きは来年進路選択をする際に良い材料になると思うので反省し、就職活動につなげたい。

今回のインターンシップでの経験は、自分の将来の仕事を決める際にとても役に立つものになりました。「医療は医者や看護師だけでなく、医療品を作る人達もいてこそ成り立つのではないか」と思い、住友ファーマ 鈴鹿工場さんを志望しました。実習では、働く人たちの話を聞いたり、こういった仕事をしているのか見学したりしました。すると、利用者の皆様の助けになることにやりがいを感じている方がとても多くいました。製造する工場に入る際も、利用者の方へ迷惑がかからないよう、清潔な状態を保つことを徹底していることを知りました。また、地震などで被災しても、製品の製造が続けられるような対策もされていました。利用者の事をとても想っていることが伝わってきました。また、働いている方のお話では、「とても働きやすい職場です」と仰っている方もいました。製造する手順が最重要なため、人とのチームワークが大切なのだと思います。みなさんとても仲が良いと思う場面もあり、そういった人とのコミュニケーションが取りやすいことも魅力のひとつなのだと感じました。今後自分の仕事を決める際、社会貢献のできる仕事にもたくさん種類があり、悩むこともあると思いますが、この経験を通じて自分にあう仕事を見つけられるよう探していきたいと思います。

〈三田工業株式会社〉

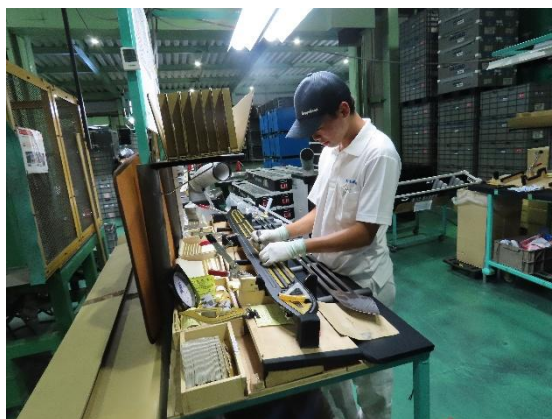
今回のインターンシップでは、工場の中の見学やCADというもので実際に設計をしたり、ものを組み立てたり、初めて見たものや聞いたものが多く、とてもワクワクしながら見学をしました。家のドアや、動物園の動物の扉の部品、更には、自衛隊などの格納庫の部品を作っていて、数センチでもずれると部品がハマらなかったり、危なかったり、大きな責任が伴う仕事なのに、それを平然とやっている姿がとてもかっこいいと思いました。三田工業さんで見学しているときはとても緊張したけれど、「そんなに緊張しなくていいよ」などの優しい言葉をかけてくれて、安心して話したり聞いたりすることができるようになりました。3日目の見学では、実際に組み立てや溶接、ヤスリがけをしました。溶接は人生初めてで難しかったけれど、優しく教えてもらったことで自分なりに溶接でき、ヤスリがけもお手本を見せてもらい自分なりに頑張ってきて、とても楽しかったです。

今回のインターンシップは、自分の将来に向けての勉強になりました。もっと体験したかったなと思いました。3日間本当に楽しかったです。

3日間インターンシップを体験してみて、1日目は製品についての紹介を聞いたり、実際にパソコンに触れCAD操作体験したりしてとても難しかったです。しかし、会社の人たちがわかりやすく教えてくださったので楽しく操作することができました。2日目はドアの種類を知り、どんな方法でドアが作られているのかを知ることができました。動物園にいるゾウのドアもこの工場で作っていて、なかなか見ることができないので見られてよかったです。また、次の日につくるキーホルダーのデザインを決めました。長さや高さを書くことは物を作るに当たって大事だということも改めて理解することができました。3日目の午前は部品の組み立てをしました。組み立て作業をしているとき、重い部品もあるため力があるし、間違えてしまうと最初から組み立て直さないといけなくなることを知りました。自分の行動には責任があるし、他の人に迷惑がかかることは大変なことなので、どこの会社でも同じだということをしかり頭に入れ、働くうえで大事なことを学べてよかったと思いました。午後は、前日に考えたデザインで一次加工をしました。やり方やコツを教えてもらったことでとてもうまく綺麗にできました。3日間通してとてもいい経験ができました。仕事の大変さややりがいも感じて将来働くに向け仕事というものを感ずることができました。

〈工業化成株式会社 鈴鹿工場〉

今回のインターンシップで、自分が作った商品が全国のお客さんのもとに届いて使用して下さることを考えると、達成感が得られました。3日間頑張ってきて良かったという気持ちになりました。また、仕事の合間の10分休憩や、12時からのお昼休憩の時間がしっかりとられていました。熱中症対策のため、会社側からスポーツドリンクの支給もありました。社員が安心して働ける環境作りが徹底されていてとてもよいと感じました。そして、自分のインターンシップ学生担当様がとても優しい方で教え方も丁寧でわかりやすく、3日間楽しく集中して仕事をこなすことができました。お客さまに提供する部品を丁寧に作ることができ、達成感も得られました。そして、事務所にいる方々はとてもおもしろく、優しかったです。



〈株式会社ミヤノ〉

今回のインターンシップで行かせていただいた株式会社ミヤノさんにはすごく感謝をしています。理由は、すごく楽しい経験をさせてもらったからです。事前訪問からインターンシップの最終日まで丁寧に教えていただき感謝しかありません。1日目はCADと工場内を見学させていただきました。CADは、なにかの図形を作ったり寸法を測ったりしているのはわかりました。午後からは工場内を見させてもらっていろんな機械を見学させていただきました。とくにレーザー加工は魅力的でかっこよかったです。2日目は自分のネームプレートを作るためのCADの説明をしてもらいました。自分のネームプレートを作るとなるとすごくワクワクして楽しかったです。3日目は本格的に作業に取りかかりました。めちゃくちゃ楽しい思い出ができて嬉しかったです。3日間本当にありがとうございました。

今回は僕達のために3日間の時間を取っていただきありがとうございました。1日目はCADでいろいろ見させていただきました。見てもぜんぜんわからなくてCADを使って仕事しているのがとてもすごいと思いました。午後からはレーザーで金属を切断しているところの見学や、機械の操作をさせてもらい、とてもいい経験ができました。最後にアイスも食べられて嬉しかったです。2日目は朝からCADを使っていろいろな形をつくったりできていい経験ができました。CADを使ってアルミ板に自分の名前を機械で彫るプログラムを作りました。アルミ板を彫って、角がとがっていたり傷がついていたのでヤスリを使って削りました。3日目は、2日目に削ったアルミ板を目が細かいヤスリを使って削ったり、コンパウンドを使ってアルミ板をきれいにしたりしました。最後は機械を使ってアルミ板を鏡にして持って帰りました。3日間いい経験ができてよかったです。



〈株式会社タチエス鈴鹿工場〉

私は株式会社タチエス鈴鹿工場のインターンシップに参加し、自動車用シートの製造現場を実体験できたことがとても貴重な経験となりました。鈴鹿工場では、Honda N BOX など人気車種のシートを生産しており、組立・溶接・品質検査といった多様な工程がありますが、その中で一体発泡工程というところで学びました。作業は単純なものから熟練を要するものまでありましたが、先輩社員の丁寧な指導とフォローにより、安心して挑戦できました。現場で「品質至上」や「互譲協調」という社是が徹底されていることを肌で感じる中で、モノづくりにおける細部へのこだわりとチームワークの大切さを学びました。また、自分が関わった製品が社会の安全と快適な移動を支えているという実感から、自動車業界で技術を学び続けたいという意欲が強まりました。今回得た経験を活かし、今後さらに主体的に技術や設計、品質管理といった専門分野の知識を深めていきたいと考えています。



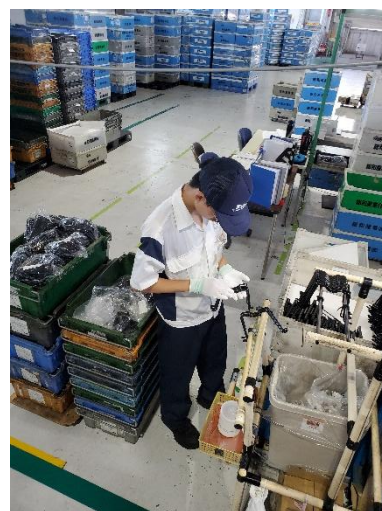
〈株式会社SANKI〉

実習に参加できたのは一日だけでしたが、とてもいい経験をしたと思いました。私は飲食店でアルバイトをしており、おもに接客や調理を担当しています。今回の実習は、冷房がない扇風機だけの環境でなれない作業をしたので大変でした。基本的に人と話さず黙々と作業していたため、人と話すことが好きな自分にとってはつらいなと感じるときもありました。しかし、集中力が高まったように感じています。アルバイトでは、接客、調理、バッシング等の様々な作業を効率的に行うことにやりがいを感じていましたが、それとは違ったやりがいを見つけることもできました。また、アルバイトとインターシップの時間の流れ方の違いを実感しました。飲食店では次から次へとお客さんが来店されるため、その対応に追われ、気づけば退勤時間になっていることがよくありました。しかし、インターシップではお客様ではなく自分と向き合う時間が多かったため、時間の流れが遅く感じました。作業には集中力が必要でしたが、その一つひとつが人々の生活を支えていることを考えると、とてもやりがいのある仕事だと感じました。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。



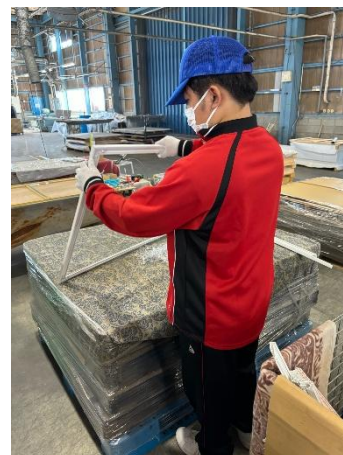
〈テイ・エス・パーツアンドサービス株式会社〉

今回のインターンシップ体験では、仕事の面白さと大変さがわかりました。仕事の面白さは、ずっと同じ作業をする上で飽きてくることがあるけれど、その部品が街中で走っている車に使われていることを考えたら、ずっと同じ作業でも楽しくなって面白くなっていくことです。その一方で、大変なことはコミュニケーションをとって仕事をしないといけないということです。一人でコミュニケーションをとらないで仕事をする、なかなか製品が効率よく作れないし、工場は危険がいっぱいあるのでコミュニケーションは大事だということを学びました。今回のインターンシップで日常生活でも活かせることがたくさん見つかりました。1つ目はあいさつや言葉づかいです。自分が行った会社でも取引先があって失礼な言葉や態度をとってしまうと不快にさせてしまったり印象が下がったりしてしまうので、普段から言葉づかいに気をつけておくことを学びました。2つめはコミュニケーションです。自分もコミュニケーションは苦手で、会社ではコミュニケーションをとらないと仕事ができないことがわかりました。これから進路選択をしていく上で今回のインターンシップで学んだことを活用していき、自分が希望している進路を実現できるように学校生活から見直していきたいです。



〈ジャスト物流株式会社〉

今回のジャスト物流株式会社での3日間のインターンシップで、とても貴重な体験をすることができました。1日目は、作業体験をするうえで必要な安全教育や生産管理、工場見学、製図、品質管理についての話を聞かせていただきました。製品を作るには設計・生産管理・原価管理が必要なことがわかりました。作業体験では、リッターとリベットでエアコンの防虫網の制作の手伝いをさせていただきました。その際、いかに効率的に作業をすることができるかについて考えました。2日目は、ポスターフレームの組み立ての手伝いをさせていただきました。より良い品質の製品を作るために考え続けることの大切さを学びました。3日目はスマホスタンドを作り、製品の様々な加工の工程を進む事で完成することがわかりました。スマホスタンドの材料はSUSHLで、私はファイバーレーザー加工の際にでるバリ取りをさせていただきました。その後プレスブレーキでステンレスを折り、スポット溶接での溶接を見せていただきました。このような工程を踏んで製品ができているということを知りました。バリ取り後にまだ作業が甘いと思いました。このような貴重な体験をこれからの進実現に役立てられるよう頑張ります。ありがとうございました。



〈シキボウ株式会社鈴鹿工場〉

僕はこのインターンシップを通してたくさんの経験をしました。最初はとても緊張しましたが、優しくフレンドリーな人ばかりで安心しました。オリエンテーションを終えて実際に見学してみると、たくさんの機械が稼働しており、音がとても大きかったです。人より機械の数が多く、いろいろな人が移動し人の数を補っているようでした。昼時になると昼ご飯を食堂へ行って食べるのですが、とても美味しく栄養が豊富でした。2日目は、少しでも梱包作業の手伝いをさせてもらいました。少しでもでしたが力を必要としていて大変でした。その後見学をしていたのですが、あることに驚かされました。何故かという、女性の方が多かったのです。理由を聞いてみると、手が器用なかが活躍しやすいそうです。2日目は立ちっぱなしでの作業が多く、大変でした。3日目は、本格的にすり込み作業という鉄のかたに文字の穴にすみを塗って文字を書くという作業を体験させてもらいました。この経験を糧にしていきたいと思います。

最初は、重い荷物を運んだりする仕事だと思っていました。実際に体験すると重いものなどはリフトなどで運んでいました。実際にやるのは細かい作業などで、出来上がった商品などに印を付けていました。練習のときは綺麗にできていたけど、実際に印を付けるときはとても緊張してしまいました。また、従業員の方が世間話をしてくれたので、あまり疲れをためずに働けました。シキボウの従業員のみなさんは明るい方が多く、働きやすいと思いました。休憩時間には食堂で食べました。かなり暑い環境で仕事をしないといけないときもあって大変でしたが、この環境で働く皆さんはとても体力があるのだなと思いました。また、シキボウは日勤しかなく、月に一日は残業をしたらダメな日があり、休憩時間にも時給が発生していたので、将来このような働きやすい環境で働きたいと思いました。今回の体験学習は進路を考えていくうえでとても参考になりました。

インターンシップでは普段、家や学校などで出来ないような貴重な体験をさせてもらいました。製品の説明などについて話していただきました。製品の梱包や刷り込み、製品を箱に入れる、カンバスに針が入っていないか金属探知機で探すなどの作業をやらせていただきました。また、ドライヤーカンバスや芯線というものを教えていただきました。進路につながるような話をしてもらいました。また、このような体験を3日間させていただき誠にありがとうございました。インターンシップに時間を割いていただきありがとうございました。この経験を就職に生かしていきたいと思います。シキボウ株式会社鈴鹿工場で学ばせてもらったことはこれからも参考にしていきます。従業員さんたちもとても優しく話しやすい人たちが多かったです。シキボウ株式会社鈴鹿工場の皆様のますますのご発展を心から御礼申し上げます。



〈三洋自動車株式会社〉

担当の人がとても優しく教えてくれたので、ミスしないでできました。今後の進路についてよく考えられました。実際にタイヤをはこんだり、部品を仕分けしたりしました。洗車なども簡単な作業ではないので大変でした。暑い中で洗車するのはとても大変でした。でも暑い中でも皆さんが優しく接してくれたので心強かったです。皆さんに、「ここに働きに来な」などと言ってもらってうれしかったです。今後こういう仕事につけるようにがんばって勉強したいと思いました。この体験学習を通して、もっと車が好きになりました。これからも車のことを知りたいと思いました。こまめに休憩して体調に気をつけてもらいました。学校の授業だけでなく自習もしたいと思いました。進路について、これから親と話していきたいと思いました。体験学習で一番好きだったのは洗車です。暑かったけど楽しかったです。皆さん優しくてまた働きたいと思いました。

インターンシップでは、洗車と車検の見学をしました。洗車は主に車をきれいにしていく作業です。流れはホイールの洗浄作業から行い、車体に水と泡をかけ拭いていく作業になります。内装の作業は車の乗降口を拭き、掃除機でゴミを吸う作業になります。後は、窓を拭いていく作業になります。特にお客様の車を洗車するときは、細かいところまでしっかりきれいにしなければいけないので、洗車は楽しい分、厳しい作業であることがわかりました。午後からは、車の車検の見学をしました。まずは車のアクセルとブレーキの検査を見学しました。ローラーの上で車を走らせ、ブレーキがしっかり効くかの検査です。次は、車の整備の見学です。この仕事は車検の当日にお客さんの車を預かり整備や点検をしていく仕事です。様々な道具を使い、タイヤ交換や検査を行っていきます。車の整備は自分が思ったより責任が重く資格を取るのもとても大変な仕事です。車の整備士になるには、高校を卒業した後に整備士の専門学校に行き、その後は店舗で整備士の二級の試験を行い、合格すれば整備士になることができます。整備士になる方法も教えてもらい、車の洗車もできてとてもいい経験になりました。

私は今回のインターンシップで、三洋自動車株式会社での車検や洗車、車のタイヤ交換などの仕事を体験させてもらいました。車の下回りや車内の構造を見たり、実際の整備作業に触れたりして、お客さんのために綺麗に安全にいろいろな確認が必要だと学びました。洗車では、BMW というドイツの高級車ブランドでものすごくカッコよくて、触るのも傷をつけたら大きな責任がともなうプレッシャーがあり、丁寧に仕上げる大切さを感じました。思ったよりいろいろな道具を使って洗車をしていて、初めてのことだらけで大変だったけど、お客さんへの思いやりも学びました。また、会社の方々がとても優しく親しみやすく、わからないことも丁寧に教えてくださったので、不安なく取り組むことができました。一つひとつの作業に真剣に取り組んでいてすごくカッコよかったし尊敬しています。将来の仕事について考えるきっかけになりました。とても貴重で社会勉強にもなりました。とても楽しい職業体験になりました。ありがとうございました。



〈株式会社ホンダ四輪販売三重北（HondaCars 三重北）〉

株式会社ホンダ四輪販売三重北で3日間体験学習をしました。1日目は車の仕組みを教えてもらったり、車のタイヤ交換をさせてもらったりしました。2日目はタイヤの走る部分の交換と配線系を詳しく教えてもらって、それを実際にさせてもらいました。3日目は、この車が車検に通るかの点検と、1日目と2日目にした同じことを3日目にもしました。自分も車が好きで、特に整備が好きなので、とてもいい経験になりました。将来株式会社ホンダ四輪販売三重北のようなところで働きたいです。株式会社ホンダ四輪販売三重北で働いている方々も、自分みたいに車が好きな人や、ドリフトが好きな人もいました。やはり、車系の仕事は車好きが多いのだなと思いました。株式会社ホンダ四輪販売三重北で働いている方々はとても大変そうだけど楽しそうで、仕事は学校に比べて厳しいものと思った。

今回の株式会社ホンダカーズ四輪販売三重北でインターンシップを三日間体験させていただいて、一番印象に残ったのは、自動車のタイヤ交換作業です。一日目にタイヤ交換の作業を体験させていただきましたが、一つ一つの作業がとても細かく、大変な作業でした。

僕が中学二年生の頃にもホンダカーズ道伯店で体験学習をさせて頂いたときに、タイヤ交換の作業を拝見し、大変そうだと感じました。ですが、今回のインターンシップでタイヤ交換を体験して、より難しく思いました。

また、洗車も体験させていただきました。お客さんの車をしっかりきれいにする作業が大変でした。車を洗う専用の泡でタイヤをしっかりと洗いました。隅々も洗わないと苦情が来ると言われて、一瞬ドキッとして、もっと頑張らなきゃと思いました。将来自分の車を持ったときに、ずっと使えるように、車検や洗車が大切だと感じました。今回体験したことを活かして、次につなげようと思いました。

インターンシップ1日目、最初にラジオ体操と自己紹介をしてから、車の前の部分とタイヤの周りの説明を聞きました。車の前の部分（ボンネット）は、エンジンルームを覆う蓋のことであり、一般的に「エンジンフード」ということを知りました。インターンシップで教えてもらったのは、ラジエーターとラジエーターキャップ、サーモスタット、ウォーターポンプ、オルタネーターです。説明が終わった後、洗車をしました。タイヤと窓、ドアとドアの内側、それ以外も全体を洗車して、掃除機をかけ、タオルで車をふく作業をひたすら繰り返しました。お昼ご飯を食べて、13時までお昼休憩をして、タイヤなどいろいろされる予定があったけど、整備士やお店の忙しさの都合でなしになって、見学することになりました。無意識に腕を組んだり、ポケットに手を入れたりしてしまったので、指導者に注意されました。とても反省しています。2日目と3日目の2日間は体調不良で休みましたが、それでも初日に取組んできたことをこれからも大切にしていきたいです。

インターンシップ1日目は、基本見学をしていた。整備を見学していると、整備をしている人が忙しそうで、整備のことについてあんまり聞けなかった。自分には積極性がたりなかったと思った。初日はもっと積極的に聞いたりすればよかったと反省した。しかし、最初のほうは車などを見ることができて楽しかった。

インターンシップ2日目は、午前午後ともに洗車をした。初日は見学ばかりだったけど、2日目からは実際に洗車で楽しかった。洗車を教えてくれた人たちも優しく指導してくれて、年齢が近い人もいて話しやすかった。共通の話題で話せたので、より仕事を楽しめた。初日からもっと話せばよかったと思った。

インターンシップ3日目は、念願の車の点検を午前中だけした。オイル交換やタイヤの空気圧をはかったりした。午後から少しだけ洗車をして、14時ぐらいからは整備をしている人の話を聞いた。聞きたいことをたくさん聞いた。インターンシップ先を株式会社ホンダ四輪販売三重北にしてよかったと思った。

この3日間で、整備とはどのようなことをするのか分かった。1日目は全く知らないことばかりで不安もあったが、作業所に行くとそこには見覚えのある工具や機械が多くあり、これらを使いこなせることが凄いと思った。また、整備の種類によって、乗せるジャッキのような機械も多くあることに驚いた。いざ自分もやってみるとなると、バッテリー診断機や上から使えるオイルを吸ってくれる機械もありとても便利だと思った。だが、下回りを見ているときは何が違うのか全く分からなくて難しかった。次に洗車をするとなった時には、外観はもちろんドアを開けてボディまで拭いていることを知り、とても細かいところまできれいにしている事が分かった。この日は洗車が多くとても疲れたが良い経験が出来た。2日目も洗車を午前にして午後には半年と一年点検の手伝いをした。この時に自分はなにをすればいいか分かっていなかったが、タブレットで写真を撮るという仕事をした。写真を撮る理由は、車に全く興味や知識がない人に「ここを変えました」「ここを変えたほうがいいですよ」と説明するためであると聞いて、確かに必要な情報を残すことが重要だと分かった。この日は、お客様に必要な情報をいかにわかりやすく伝えるかが大切だと分かった。3日目は整備の手伝いをした。この日は、基本となるバッテリー点検、ウォッシュ液追加、オイル交換と追加、レンチでの確認をした。特に、レンチで締めるときはナットを対角に閉めないはずれてしまう、などの問題が出ることが分かった。

この3日間で、確認と安心を怠らず、仕事をする時にごちない表情せず楽しくすることが大切だと教えてもらい、力を抜きつつ注意を配ることが大切だと学べた。最後に、自分もこのような仕事に就きたいため、とても貴重な体験をさせてもらったと感じた。本当にありがたいなと思えた3日間だった。

朝礼に参加させていただき、社是をおっしゃっていたり、今日や今月の目標を発表したり、全員が目標を達成するために全力でお仕事をされている姿勢を目の当たりにして、私も何事にも目標を持って、その目標を達成するために何をしなくてはいけないのかを考える力をつけたいです。事務の仕事は主に電話対応・接客・事務処理の3つの業務を行う事がわかりました。電話対応は2コール以内に出るということも教えていただきました。接客時には愛嬌のある笑顔でお客様の用件を承り、お客様の待ち時間があつたらテレビや漫画、ドリンクを勧めるなどしてお客様をもてなしていました。接客後も事務作業があり、明示処理や書類処理をしていました。事務処理の一部はPCでExcelを使ってデータをまとめていたので、情報の授業でもExcelを使って勉強しているので、将来のためにPCを正確に使いこなせるように精進します。実際に働いている姿を見て、接客と事務処理を両立するということが難しいと思いました。

3日間を通して、皆さんが働いている姿を目の当たりにして、私が社会人になったときにどういう大人になっていきたいのかを考えはじめたいです。これから社会人になっていくうえで、現在の学校生活の授業に向けての姿勢、人間関係・上下関係の礼儀・敬語をちきんとして社会人になりたいと思います。

私はこの3日間、働くことの大変さ、基礎的なことなどを知ることができました。電話対応のとき、相手の顔を見ることができなくて表情がわからないため、印象を良くするためにも声を宝塚のように出すことや、ドリンクやお菓子を出すとき音がならないようにゆっくり置くこと、コースター、ドリンク、お菓子、その他の順番でお客様に出すこと、礼やあいさつするときは親指を隠すようにして左手を上にして、首だけじゃなく背中から曲げること、ドリンクの作り方や分からないことを誰に聞いても嫌な顔せず、笑顔で教えてくれました。「やり方わかる？」や「一緒に作ろっか」のように、とても優しい言葉をかけてくださりとてもうれしかったです。お客様にドリンクを届けて、「ありがとう。」と言ってもらったとき、本当にうれしく感じました。ホンダのディーラーのお仕事にこんなやりがいがあることを知らなかったので、知ることができてよかったです。改めて職場体験を経験させていただき本当にありがとうございました。

この3日間のインターンシップを通して、将来の夢を決めるヒントになりました。ホンダカーズ三重北さんの事務はお客様と接する事が多く、事務作業と接客を体験できました。パソコンでの入力作業、資料の整理、お客様のお出迎えなど実際の仕事をさせていただき、より仕事について知ることができました。私はもともと接客と事務の仕事に興味があったので、どちらも体験することができて良かったです。アルバイトの時のように、いらっしやいませ、ありがとうございましたが自分からいえなかったのが悔しいです。3日目にはお客様のお出迎えも1人で行けるようになり、やればやるほどできるようになったので達成感もありました。みなさんと甲子園をテレビを見て応援しながら仕事ができ、楽しく終えることができました。きちんとしたときと楽しむときの切り替えがあり、社員さん同士の仲もよく、素敵な職場環境でした。このまま就職してきて一緒に働いてほしいと言っていたきうれしかったです。

〈株式会社ホンダカーズ三重〉

僕は、7月24日、25日、26日の3日間インターシップの実習で株式会社ホンダカーズ三重でお世話になりました。1日目はとても緊張しました。まず朝礼が始まり、その後に洗車の仕事を教えてもらいました。洗車は初めてなので、最初はきれいに出来るのか車に傷をつけないか少し不安がありましたが、一台、二台、三台と洗車していくと段々慣れてきました。五台洗車しました。水洗いの後は、雑巾で車作・タイヤの水を拭き取り、その作業が終わったら会社の方に点検してもらいました。全部合格でOKをもらいました。暑い日だったのでとても大変でした。部活とは違った疲労感でした。2日目は、頭痛でお休みさせてもらいました。社会人になったら頭痛だけですむことは出来ないことだと今反省しています。3日目は、体調が戻り実習に行きました。3日目も朝礼・洗車で1日実習勉強させてもらいました。2日間、本当に貴重な経験をさせてもらいました。また、車のことを知ることができてよかったです。

まず、最初に事業所の入口に迷い、五分ほど迷いました。3人で中へ入り、挨拶をすませたあとに二階へ行き、9時45分の朝礼まで待機しました。そして45分になり、下へ降りると、作業員の方々が集まっていて、朝礼が始まりました。最初に欠勤などの出欠確認を済ませたあと、各自で連絡事項を話していましたが、正直話が難しくわかりませんでした。朝礼を終えると、工場の方が声をかけてくれて、工場の方についていくと、車が並んでおり、中には見慣れた車もありました。みなさん作業中のようでした。タイヤを外し、奥の方まで細かく作業する人もいれば、ボンネットを開けて、エンジンのことや、その他の作業をする人たちなど、様々でした。とても難しそうに見えたのが印象的です。僕達3人は、しばらくは作業する人たちの見学でした。その中で、エンジンの説明や、進学、就職のことについてお話をもらいました。作業員の方たちは、割と若い人が多く、とても親しみやすかったです。そうこうしていると、最初の体験のタイヤ交換をさせてもらうことになり、やってみると重くはないのですが、屈んだ姿勢と、ボルトの位置が絶妙で、けっこう難しく、車にぶつけないよう必死でした。そのあと、また少し見学をし、今度はタイヤの空気圧の調整について教えてもらいました。どうやら空気量は2.2~2.5メガパスカルでした。専用の器具を使い、空気圧を見て少なければ記載されている量の少し多めまで入れました。調整よりも空気の入口のキャップを落とさないかが怖かったです。そして、僕達の主な作業の洗車後の拭きあげを教えてもらいました。まず、水を吸収する布で、車の外側を拭きあげました。その次に、車の内部の拭きあげをし、最後にホイールを拭き、終了しました。二日目は体調不良で休んでしまいました。申し訳ないです。三日目も一日目と同様の作業をしました。みなさん丁寧に接してくれ、いい経験ができたと思います。とても楽しく、感謝の気持ちでいっぱいです。

今回のインターシップでためになったのは、自分の進路をしっかり考える時間ができながらも、お仕事の体験をさせてくれたことです。終わったあとも、しっかり自分の将来について考えることができ、インターシップを受けてみて改めてとても良かったなと感じています。

2日目から、私自身の体調不良でインターシップに参加できなかったのは、私自身の体調管理ができなかったからであり、このことについてはしっかり反省しています。仕事をするうえで仕事の出来も大切ですが、体調面の管理も仕事の一環だと感じました。仕事については、タイヤを外したり、タイヤを付けたりする作業が自分の中でもとても印象的に残っています。小さいころから、タイヤを付けるときに使う機械がどんなふうになっているのか知りたくて、実際にしてみるととても難しく、回す

ぎずゆるくしすぎずで思ったより難しいことがわかりました。この作業を早くしているみなさんはとてもすごいのだなと改めて感じました。短い期間でしたがありがとうございました。

〈ネットトヨタノヴェル三重株式会社〉

今回、私はインターンシップでいかせていただいたネットトヨタノヴェル三重株式会社で車について多くのことを知ることができました。車の点検の仕方や車検のときに見なければいけない場所などを知りました。タイヤを外すのは結構力がいるので、力がない人がやるのは結構厳しいなと思いました。タイヤにも色んな種類があって、一つ一つ重さも違うし空気圧も違うので、覚えるのが大変でした。タイヤ以外にもオイル交換などもしました。オイル交換は2つ場所があって、フィルターを外すのが結構固くて難しかったです。オイルは170度近くまで上がるので、やけどする可能性があるので慎重に丁寧にやらないといけませんでした。オイルの蓋をつけるのも難しく、ミスするとやけどします。ほかにもタイヤとホイールを新しいのに変えるのも難しく、空気を入れているときに音が大きくて危なかったです。今回のインターンシップでいろんなことを知れて本当に良かったです。

インターンシップに行って、初めて知ることや体験することがとても多くて、貴重な時間を過ごすことができました。最初の1日目は、事業所の方とはじめて話して、緊張することもあったけど、優しく話しかけてくれて、私たちも話しやすいかったです。これまで、車の裏側やボンネットの中などを見る機会が全くなかったけど、インターンシップで中を見たりできたおかげで、どこがなんの部品なのかが少し分かるようになりました。将来はこういった車関係の仕事について、自分の車の整備をできるような大人になりたいです。私は車やバイクといった乗り物が好きなので、こういった機会があったおかげで、将来仕事につくときに、インターンシップで学んだことができたら面白いなと思いました。2日目は前日の応用で、タイヤ交換を一人で行ったり、オイル交換をしてみたりと、すこしリスクがあることにも挑戦してみました。無事何事もなく終わってよかったですが、整備士の人は、いつも一人でこんなことをしていたことを知り、すごいと思いました。



〈鈴鹿インター株式会社〉

1日目は緊張していたけど、職場の人たちが優しく教えてくれたり、指導をしてくれたりしたので、緊張が次第にほぐれていきました。午前中は担当の方に会社のことを教えてもらったり、社内を案内してもらったりして、「ここで働いている人はこんなことをしているんだよ」「ここはこの部品を取り扱っているんだよ」と場所ごとに教えてくれたのでわかりやすかったです。午後は納代業務を行い、部品の箱を片付ける作業で、箱は片付けるのは簡単でしたが、紐でくくるのはとても難しかったです。2日目は検査と詰め替えで、検査では手で部品を組み立て、それを検査しました。詰め替えでは、自分の手で操作できるフォークリフトを使い、フォークリフトは車の方しか知らなかったなので自分で操作できるの

はなかなかない機会だと思っていざやって見たけど、操作に手間取りました。すると、社員の方々がアドバイスをくれて、それをもとにやってみたらできて、慣れるととても楽しかったです。3日目は、p c操作で伝票を作って、部品を出荷するときどの箱になんの部品が入っているのかの紙を仕分け、1枚でもズレたら1つひとつ袋からだしてみるので大変でした。

3日間で得た経験は、僕にとって将来役に立つに違いないと思うので、またこのような機会があればまたやってみたいです。



〈四日市物流サービス株式会社〉

1年生のときの3Cツアーとは違って、働くところを見るだけでなく実際に体験するので、初めは難しいことをするのかと思っていました。でも、従業員さんたちが優しく丁寧に教えてくださったおかげで、安心して作業をすることが出来ました。その作業は、買い物をするようにカートを引いて、商品につけられた番号とローマ字順に並んでいるのを段ボールに入れていくという作業で、見た目とは違ってとても重い荷物もあり、従業員さんが身軽にやっていてすごいと思いました。作業の説明をしてくださった人も、丁寧に教えてくださって、とても楽しい体験をすることが出来ました。2日目は、海の方へ行き、ワイケイ物流サービスさんへ行きました。そこでは普段は入れないところへ行き、大きな重機から小さな重機を動かして作業しているところを近くで見ることが出来ました。将来乗ってみたいと思っていたウォークリフトやガントリークレーンを近くで見ることができ、案内してくれた人の貴重な話を聞くことが出来て将来の就職活動の参考になり、すごく心に残りました。3日目は、冷蔵保存庫に入ることができ、実際に体感することが出来ました。3段階の温度のところへ入って普段から作業している従業員さんたちは、とても寒い中仕事をしていることがすごいと思いました。いろいろな技術を体験することが出来て、将来の働く場所の視野を広める事ができとても楽しかったし、社会勉強になりました。



〈センコー株式会社 三重支店〉

今回のインターシップでは、センコー株式会社三重支店の物流業務に携わらせていただき、物流の現場がどのようになっているのか学が重要な機会となりました。

ラベル貼りをしました。いっぱい貼って大変でした。しっかりとラベルが貼っていて、数がちゃんとあるか数えるのが大変だったけど、しっかり間違えずにできました。フォークリフトにエンジン無しで乗せてもらって、普通の車と変わらないと思ったら意外と高くてびっくりしました。フォークリストに乗せてもらうことがないので、インターシップならではの本当にいい体験でした。フォークリフトで持

ち上がる重さは約2トンで、そんなに持ちあがるなんてすごいなと思いました。倉庫内での仕分け作業や出荷準備、トラックへの積み込みの様子を見学・体験する中で、正確さと効率を両立する現場の工夫に驚きました。また、社員の方々がチーム一丸となって真面目に働いている姿が印象的で、自分も社会に出たらこのような姿勢を持ちたいと感じました。

今回の経験を通して物流業界の重要性や魅力を再認識することができ、自分の将来について考える良いきっかけになりました。

〈有限会社 浜村工務店〉

僕は、3日間の体験を通してこの仕事の大変さや難しさがわかりました。体験1日目には、主に道具の説明をしてもらいました。知らない道具がたくさんあってとても勉強になりました。また、重機にも乗らせてもらいました。操縦する前までは勝手に難しいものだと思っていましたが、実際やってみると思っていたよりも簡単で、ゲームみたいで面白かったです。体験2日目は、長時間外にいたのでとても暑かったです。これを毎日のようにやっている事業所の方々はすごいなと思いました。2時間近く日の当たるところで作業していてとても暑かったので印象に残りました。体験3日目は、建物の建て方の説明やCADソフトについて教えてもらいました。CADソフトについての説明が印象に残りました。無料のソフトもあるそうなのでやってみたいと思いました。この仕事は暑かったり力仕事だったりで大変なこともあります。職場の雰囲気は楽しそうでした。仕事は大変なことばかりで辛いことだと思っていましたが、僕の中での仕事の印象が変わりました。とても有意義な3日間になったと思っています。



〈須賀 株式会社〉

今回のインターンシップでは、土木工事の現場を見学し「丁張り」という作業について学びました。丁張りとは、道路や構造物を正しい位置に施工するために基準となる線を出す作業で、工事の精度に関わる大切な工程です。実際の作業を見て、わずかなズレも大きなミスにつながるため、高い集中力と正確さが求められていることを知りました。普段何気なく使っている道路も、こうした基礎的な技術に支えられていることを知り、土木の仕事の奥深さを実感しました。また、現場の方々が真剣に作業している姿が印象的で、責任感のある仕事だと感じました。今回の体験を通して、土木の仕事が社会を支える大切な役割を果たしていることを気づきました。目立つ仕事ではないかもしれませんが、多くの人の生活を支えるという誇りある仕事だと思いました。自分も将来、人々の暮らしを陰で支えるような、責任感や、やりがいのある仕事みんなのために就きたいと強く感じました。



〈株式会社ハンエイ〉

今回のインターンシップを終えて、土木業は自分が思っていたような、夏は汗だくで作業して、冬は寒い中作業するだけではないとわかった。土木業は外で作業する人以外にも中で作業する人がいると知った。中で作業する人は施工管理と言って、「正しく、安全に、無駄なく」進むように全体をまとめる役割をしていることがわかった。工事を始めるにあたって、最初は測量が工事のスタートで、測量とは工事をする場所の土地の形、高さ、広さなどを正確に調べる作業で、今の測量では3次元測量を使用することを知った。3次元測量はドローンで空から写真を撮って地形を記録。レーザーを当てて細かい立体のデータが読み取れる。GNSS 測量で、衛星で位置を取得して電柱や建物の性格な位置を測って工事のスタートが始まることがわかった。ハンエイは工事で出たいらない土建設発生土を石灰やセメントなどを混ぜ、機械で水分を調整し、使えない建設発生土を改良土にして道路や駐車場の下に敷いたり公園や造成地などの整地に使われる土を作って売っている事がわかった。

初めて重機を触ることができ、重機の操作は2本のレバーで4つの操作ができることがわかりました。いざ操作してみると、操作することがものすごく難しく、操作をしている人は操作をしいるうちに体が覚えて簡単に操作ができるとわかりました。ハンエイには会社にある重機だけでもものすごい量の重機があり、重機一つひとつで用途が違うのでその用途に合わせて使い分けているとわかりました。測量と3次元測量の図や求め方が難しく、意味がわからないと思いました。インターンシップで一番楽しいと思ったのがドローンの操縦でした。重機と同じぐらい難しいと思ったけど、ラジコンと操作が似ていて楽しかったです。土木作業では、監督の命令が絶対なので若い人が監督でも従わないといけなるとわかりました。ハンエイでは土のリサイクルをしており、三重県に認められているリサイクル品だとわかりました。リサイクル品に認められたことで、土の強度を年に数回はかることがわかりました。



〈株式会社 日館建設〉

マニフェスト集計は、最初は難しくて何回か間違っボタンを押してしまってた1からやり直したりしたけど、優しく教えてもらいながら何回もやったらどんどん慣れてきて、2日目と3日目はとても早く終わりました。日報も少し難しかったけど、次の日からは慣れてすらすらできました。仕入れは何回やっても慣れなくて一番難しかったです。工事現場の看板用シールづくりやラミネート作成が思ったより簡単で楽しかったです。タイムカード作成は時間や名前がズレたりして難しかったです。3日目は1、2日目にしたことを全部やりました。難しい仕事もあれば簡単な仕事もあってとても勉強になりました。昼休憩のときも話しかけてくれたりして気まずくならずに楽しく休憩できて良かったです。やり方を間違えたときや、わからないことを聞いたときなどに優しく教えていただいて、職場の人とても優しく話やすくして仕事がやりやすかったです。将来この職場で働いてみたいと思いました。

〈衣笠土木有限会社〉

今回のインターンシップで様々なことを見学、体験させていただきました。まず1日目は衣笠土木有限会社が所有するプラントでどのような作業をしているのかをお聞きしました。プラントではコンクリートを砕き碎石として売ったり石や砂を作ったりしていました。午後では事務所に行き重機の自動化やドローンなどの無人化が進んでいると説明されました。2日目は主にドローンのことをしました。ドローンを使った測量をし、データを出すということをしました。機械を使っているのを見て近代的になっていると感じました。午後ではドローンの操作をさせていただきましたが操作は難しかったです。最終日では2日目に撮影したドローンのデータをパソコンに移す作業を見学しました。写真の枚数は300枚を超えており、1枚1枚確認するという僕にとっては地獄の作業を行っておりすごいなと感じました。お昼休憩ではご飯に連れて行ってもらいご馳走になりました。土木の人たちは優しく接してくれて嬉しかったです。午後では重機に乗せてもらいとても緊張しましたが、重機に乗るのは楽しかったです。今回のインターンシップではたくさん緊張しましたが、その分衣笠土木有限会社の皆様は優しく接してくれてとても居心地が良かったです。インターンシップが終わり感じたのは土木の世界にもっと行きたくなったのが1番です。

インターンシップでは、1日目は朝から事業所の人からプラントの説明を聞き、現場の見学に行きました。初めて見るものが多くありましたが、どの機械を使えば土木でどのような作業ができるのかを一から説明してくれました。2日目はドローンの操作の見学をしました。ドローンの操作に必要な器具をおいていき、測量をしていました。実際に測量とドローン操作を体験させてくれました。ドローン操作までの測量の大変がわかりました。3日目は、2日目のドローンで撮影した航空写真を、事業所さんがパソコンで航空写真の編集をして、立体的にして僕達に見せてくれました。午後は実際に重機に乗せてくれました。ショベルカーとブルドーザーに実際に乗せてくれました。どちらも操作が難しく、操作がわかりませんでした。事業者さんが丁寧に操作の仕方を教えてくれました。乗ってみたらどのようにしたら動くのかがわかりました。ICTを使うことで、操作が難しい重機を人工衛星で遠隔で操作し、前、後ろ、だけで操作ができるようになって簡単にできるようになっていました。



〈学校法人享栄学園鈴鹿大学〉

今回はインターンシップに行かせてもらって、自分の将来にとってすごいことになったと思いました。自分は4年制大学に行きたくて、今回のインターンシップを鈴鹿大学様に希望しました。鈴鹿大学様では、オープンキャンパスの企画書作成や、二日目はオープンキャンパスのチラシ作りなどをして、三日目にはオープンキャンパスのパンフレットの袋詰めやそのパンフレットの修正を200冊ほどしました。どれも大学の裏側という感じでとても面白かったし、大学見学などもさせてもらって大学ってこんな風なのだなと感じられて、とても貴重な体験をさせてもらったなと思いました。他の職員の皆さんもとても優しい方が多くて、すごくやりやすかったし、過ごしやすくて、とてもありがたかったし、

インターンシップ先を鈴鹿大学様にして良かったなと思いました。自分的にためになったと思ったのは、オープンキャンパスの企画書作成と、チラシ作りです。オープンキャンパスの企画書作成では、自分の立場を立案者として考え、オープンキャンパスに来訪する生徒さんをお客様と考えて企画をしました。自分が社会に出て会社に入社したときに、企画書作成をしようとなったときに役立つと思ったし、自分を立案者、来訪する生徒さんをお客様として見るという新たな視点がこれからの自分に役立つなと感じました。オープンキャンパスのチラシ作りでは、どのようなチラシが来訪者の生徒さん、お客様にウケるのか、印象に残るのかというのを考えて、印象に残るキャッチコピー、フレーズなどを考える、シナリオライターのような体験をできました。社会に出たときにチラシや、プレゼンテーションなどの資料を作るときに役立つなと思ったし、お客様の立場になって考えるという、客観的な立場で考えるという力が養われたなと思いました。他にもすごい自分の将来に役立つなと思った事があったし、この3日間は本当に貴重な体験をさせてもらったなと思いました。今回は本当にありがとうございました。

〈養護老人ホーム 南山〉

私は、3日間養護老人ホーム南山で介護の大変さやすごさを学びました。私の母が介護士のこともあり、人並み程度の知識や大変さは分かっていると思っていました。しかし、この3日間の経験で私の見ていた母の大変さは、ごく一部なのだなと思いました。そのため、あらためて母の補助に全力で臨みたいと思いました。

南山での1日目は、まず朝礼をしました。朝礼では夜勤の内容の確認や今日1日の流れの把握の確認をしました。次に施設案内の体験をさせていただきました。そこでは利用者の方々に対する気遣いや長年利用されている方々を楽しませる工夫をしていました。例えば冬にはクリスマス会を、夏には夏祭り、誕生日の人には誕生日会を開いていました。その次には認知症の勉強をしました。認知症とは脳の病気のことだと知りました。脳の病気には主に3種類あり、認知症で1番多く見られるのは脳の細胞が死んでしまい縮んでしまう「アルツハイマー病」や、2番目に多く見られるのはタンパク質がたまり、脳の細胞が傷付いてしまう「レビー小体型認知症」や、3番目に多く見られるのは血管がつまって一部の細胞が死んでしまい麻痺が残ってしまう「脳血管性認知症」があります。そして、認知症の方々には気持ちに寄り添い、分かってあげることが大切だと知りました。次に看護師の方々の話を聞きました。薬の補助や説明を聞きました。

2日目は入浴介助をしました。主にお茶入れやバスタオルの用意をしました。次にリハビリや見守り確認をしました。その人たちにあたりリハビリ内容をしました。そして次はレクリエーションをしました。盆踊りやラジオ体操をしました。1日目よりもさらに利用者の方々・職員の方々と仲が深まったと思いとても楽しかったです。3日目も1・2日目と変わらない内容でしたが、とても楽しく頑張れたと思います。

この3日間で分かったことは、1番に利用者の方々の気持ちに寄り添うことです。老人ホームは共同の場でもあり、長年利用されている方も大勢います。少しでもストレスを軽減するためにたくさんの知識で楽しませる工夫をすることを改めて知りました。南山での3日間は、私の将来の夢である看護師・助産師へつながることも学べました。充実した3日間をおくれました。ありがとうございました。



〈社会福祉法人あけあい会〉

このインターンシップでは、年配の方々の気持ちを読み取ってお客様の要望に答えて職を全うしている姿を拝見して、自分が将来したい職業に近づけられたと思いました。お客様とのコミュニケーションスキルが高いところが自分のいいところだと思っていたので、あけあい会の施設利用者の方々とコミュニケーションを取る際にちゃんとアイコンタクトを取れたと思います。施設の職員さんと施設の利用者さんとの会話のやり取りや仕草から、お年寄の方々に合わせ、相手の表情を読み取るプロだなと強く思い、自分もこの仕事をしたいと改めて思いました。このような経験を通して、私は社会福祉の仕事をしたいと強く思いました。おばあちゃんに、めちゃくちゃ男前と言われてすごく嬉しかったです！体の不自由なおばあちゃんとコミュニケーションを取った際には、職員さんがやっていた会話の速度を合わせたり、相槌を打ったり、優しく話を聞いたり、自分の中のこの仕事をするうえでのポイントを意識して取り組みました！

一日目の担当の方の説明が大変分かりやすかったです。施設内の説明と見学では、利用者さんの状況によって色々と役割で決まっている部屋など、一つひとつ丁寧に教えてくれました。こんなに細かい決まり事があることを知って驚きました。資格についての詳しい取り方も聞いて、難しいなと思いました。あけあい会にしかない利用者さんのための機械があったり、腰をいためないように長い板みたいなもので腰を抑えたり、めずらしいものも見せてもらいました。おかげで自分が将来就きたい職業の一つになりました。利用者さんとたくさんコミュニケーションをとるなかで、私の話を聞いてくれる利用者さんもいて、とても会話がはずみ嬉しかったです。その利用者さんは昔ギャルだったそうで、その話もしてくれました。色塗りをしたりシールを貼ったりたくさんいろんなことを経験させてもらい楽しかったです。今回体験させてもらったことを他のことにも活かして頑張りたいなと思いました。最後の日体調崩して行けなくてすみませんでした。2日間でしたけど、本当にありがとうございました。

今回のインターンシップを通して、介護の施設内の様子や職員の人たちが普段どのようなことをしているかなどを詳しく見学したり、教えてもらったりしました。介護についての説明を聞いている中で、あけあい会だけの工夫があることを知りました。体が不自由な人は自分でベッドから移動できないので、毎回介護してくれる人が持ち上げているけれど、それだと腰を痛めて辞める人が多いと聞きました。そこで、あけあい会だけ使っている道具がありました。それは、事業所の人も体が不自由な人も腰を傷めず移動できるものです。それを使っているところを見せてもらいましたが、どちらも楽しっていてとても便利だと思いました。

また、たくさんの利用者さんとお話をしていると、みなさん何かしらの趣味などがあってとても楽しそうでした。色塗りやパズルをしていて、色塗りは賞を取っていたりしていてすごいなと思いました。

自分の長所がいかせた3日間でした。



〈医療法人 博仁会 村瀬病院 グループ〉

1日目の午前中は自己紹介をしました。午後からは手指の運動のために一緒に折り紙を切ったり貼ったりしました。1日目だったのでとても緊張しましたが、皆さんが優しくフレンドリーに声をかけてくださり、過ごしやすかったです。

2日目の午前中は利用者の方の部屋のモップをかけたり、シーツを敷いたり、段ボールを貼ったりする作業をしました。シールを敷く向きも決まっており、利用者様の事を考えているなと思いました。午後からは体温を測り、夏祭りに向けての練習や歌詞を紙に書きました。それが終わってから、おやつを利用者様と一緒に作りました。とても盛り上がり楽しかったです。上手にできて良かったです。

3日目の午前中は雑巾を作りました。午後からは百人一首を紙に書き写しました。それが終わってから1日目、2日目の折り紙や段ボールの作業の続きを一緒にしました。最後にはそれを持って帰ることができて良かったです。

3日間共通してしたことは、お風呂上がりの方の髪の毛を乾かすこと、手や口の体操、洗濯の手伝い、お昼ごはんの準備や配膳などです。髪の毛を乾かすときに気をつけたことは、熱くなりすぎないように工夫し、声掛けをしたことです。お昼ご飯の際に気づいたことは、塩分控えめの方や、スプーンが必要だという人など様々だということです。

この3日間介護という仕事を体験し、仕事の内容は沢山あり難しいですが、コミュニケーションを取ったりして、利用者様の笑顔を見ることができると感じました。



〈(有)おおえのきトータルヘルスケア (株)ウエルジュ〉

一日目は午前中も午後も、運動やストレッチのサポートをしました。お昼休憩のあとは、午前の人たちと午後からくる人たちの送迎をしました。自力で動ける人たちが多かったので、電気をつけたり、お茶やお菓子を運んだり、一つずつ運動ができた人にチェックをして、大きな声でお話したり、緊張したけど楽しい一日でした。二日目は午前中までで、昨日と同じ運動やリハビリの補助でした。一日目より、少し補助が必要な人が増え、会話が成り立たなかった人もいたので、ちょっと手こずった部分もありましたが、一日目よりは緊張も徐々になくなってきました。三日目は、三日間のうちで一番ハードな一日でした。午前中は入居者の方々をお風呂にいれる補助、午後はお昼ご飯を食べさせる補助、折り紙、オムツを変える貴重な所を見ることができました。最終日は一日目、二日目よりもハードで、最初お風呂をいれると聞いたときは自信がなくて、手が滑ってしまったらどうしようと不安でいっぱいでしたが、やっていくうちに情も湧いてきて、大変だけど、頑張ろうと思えてきました。

悔いなく頑張れたので、すごくいい経験になりましたし、おおえのきさんのところだからここまで経験できたと思います。おおえのきさんのところを選んで良かったです。3日間ありがとうございました。

1日目、2日目は鈴鹿の施設の建物の方に行きました。鈴鹿では、主に自分で行動できて、思ったことを言える人しか通っておらず、色々な人と話すことができて楽しかったです。リハビリに使われる道具は11種類ほどあり、そのうちの1つを使って接骨院の先生がマッサージしていました。ほかにも、吸引器のようなものを使った電気マッサージの機械が備えられていました。1人ひとりによって電圧の調節ができ、その人に合わせたリハビリ、マッサージができるのはすごくいいなと思いました。3日目の場所では、車椅子の人がほとんどで、お風呂の介護、食事のサポートなど本格的な介護について勉強することができました。介護施設には看護師さんが1人いて、背骨が曲がっている人に対しては、車椅子や硬いものに当たったときにすって傷ができないよう薬を塗ったり、内出血していた場所の皮膚がめくれた人の処置をしたりする姿を見て、あらためて看護師さんはかっこいいなと思いました。この3日間で出会った施設のおじいさんやおばあさん、介護師さんや看護師さんが優しく暖かく迎えてくださり、とても楽しく取り組む事ができました。将来の夢のためにも、今回のことを生かしながら何事にも頑張って取り組んでいきたいなと思いました。

〈有限会社あーきぺんこ〉

今回、3日間のインターンシップでたくさんのことについて学びました。初めての場所だったので最初はとても緊張したけど、みなさん優しく教えてくださったり話してくれたのですぐ馴染むことができました。美容師は、お客さんと接したり話したりすることがほとんどで、コミュニケーション力が大切だとあらためて知ることができました。お客さんの対応をしているとき、スタッフの方はお客さんの話す話題にすぐ追いつけていてすごいと思いました。細かい作業がかなり多く、カラーを塗るときやロットを付けるときの手際がすごく早くて、たくさん練習があってこそその技だと感じました。また、お客さんに対する気遣いなども一人ひとりにきちんとしていてすごいなと思いました。このインターンシップを通して、仕事の忙しさや大変さなどたくさんを知ることができ、将来のことについていろいろ考えることができました。私は、将来接客系のお仕事に就きたいと考えているので、このインターンシップの経験を活かしながら将来の就職決めなどに役立てたいと思います。

〈REMIX〉

一日目は、沢山の方々が一から優しく教えてくれて、あまり緊張せずに体験ができました。午後からはワインディングをさせてもらい、皆さんの巻き方や教え方がうまいおかげで、一回目から巻くことができました。みなさんがたくさん褒めてくれたので、いっぱい自身がつきました。とても楽しかったです。

二日目は、一日目とは違う店舗で体験させていただき、パーマなどのお手伝いをさせていただきました。みなさんがやってほしいことを指示してくれるので、時間を余すことなく体験ができました。あまり皆さんと話す機会がなかったのですが、優しくとても楽しかったです。

三日目は午前中までで、朝からワインディングの練習をさせていただきました。皆さん忙しいのに見てくれたりして、だんだんとワインディングがうまくなったなと実感できました。沢山の人が優しくしてくれて、あまり緊張せず3日間過ごせました。この3日間で体験したことを活かし、将来美容師になりたいなと強く思いました。

昔から憧れていた美容師というお仕事を体験させていただいて、美容師になりたいという気持ちがよりいっそう強まるいい体験となりました！1日目はREMIXでタオルを畳む・掃き掃除・いすの片付け・洗濯物・洗い物などの基本的な業務を教わり、午後には店長さんのパーマアシスタントをさせていただきました。実際にお客様と接する体験を高校生で経験できて嬉しかったです。2日目のMarl.では1日目に教わった基本的なことに加えて、ワインディングとシャンプーを体験させていただきました。ワインディングは難しかったですが、コツを教わってできるようになって嬉しかったです。シャンプーもですが、やっぱりプロはすごいのだなと実感しました。体験だけでなく美容師への道を細かくわかりやすく話してくださって、とても勉強になりました。休暇時間もつきっきりで教えてくださったり、話しかけてくださったりしたおかげで、楽しく過ごすことができました。この3日間でたくさんのことを学び、美容師になりたいと強く思いました。本当にありがとうございました！

〈有限会社小原木本舗大徳屋長久〉

インターンシップ1日目、10g～12gのあんこを正確に測ることができました。少し不器用だったあんこの形も、回数を重ねるうちに綺麗な丸を作ることができるようになり、嬉しかったです。2日目、働いている方々がやってほしいことを伝えてくれたり、教えてもらったりして、しっかり理解したうえで、自分がやるべきことを最後まで行動することができました。3日目、おもちの作業で、おもちが柔らかいため、ゆっくり、力を抜いてすることを頭に入れて作業しました。おもちを袋に入れて段ボールに詰める作業が、1日目にした時よりもかなり速いスピードですることができました。1日にやるべきすべてのことを最後まで諦めずに取り組み、丁寧にすることができました。

3日間、自分自身が成長できる機会をくださり感謝をしています。自分が意識している部分がしっかりできて良かったです。働いている方々を見て、和菓子の一つひとつの作業の大変さが伝わり、こだわりがあって素敵だと思いました。働いている皆さんは、一日中手を止めずに立っているのがすごいなと思います。私も夢中になって作業し続け、成果を出したいです。小さな出来事でも、とても大きな嬉しさや達成感が湧き、もっとたくさんの方に挑戦したいという思いが溢れました。初めて和菓子に触れてみて、作る楽しさを知るきっかけになりました。将来の自分のことを考えて、自分の興味、仕事での達成感、集中しやすい環境を目安として就職先を選びたいと思います。ぜひ、またの機会にお店にお邪魔し、とても美味しい和菓子を買って食べたいと思いました。より和菓子の魅力に惹かれました。こういった機会をくださった方々に感謝しています。将来の事にしっかり向き合うことができました。

この三日間のインターンシップを通して、初めての体験がたくさんできました。1日目は早退してしまいましたが、あんこを丸める作業をして、初めてのあんこの感触が面白かったです。2日目はいろいろな体験をさせていただきました。わらび餅、アイスや水ようかんなどいろいろな和菓子を詰めました。きれいにいれられるように気をつけました。蓋を付ける作業は真ん中にのせるのが難しかったですが、やっていくうちに少しずつできるようになりました。3日目はおもちをとるのが難しかったです。とても柔らかいし、手袋に引っ付いたりして大変でした。カップを並べるのは2日目もしたことだし、簡単な作業だったので楽しんですることができました。洗い物は家でもしていることなのでできると思いました。大きな鍋など初めて触るものばかりだったので難しかったです。3日間、下を向く作業が多かつ

たので腰や足が痛くなりましたが、皆さん平気そうですごいと思いました。優しい人ばかりで私のことをよく気にかけてくれ、優しく接して下さってとても嬉しかったです。私はこのインターンシップで自分が関わったものが誰かの手に渡ること喜びを感じました。そのため、将来誰かのためになれる仕事に就きたいです。

〈鈴鹿ストーリーホテル〉

僕は、7月の22日と23日と24日の3日間、鈴鹿ストーリーホテルに職場体験でお世話になりました。初めての職場体験なこともあり、緊張や不安もあった上に職場の雰囲気や環境が厳しいと思っていたのですが、想像とは反してスタッフの方々は温かく迎えて下さり、優しく接していただいたおかげで、すぐ打ち解けることができ、とても楽しく学びの多い充実した3日間を過ごすことができました。実際に行った活動内容は、ロビーの清掃、予約の入力と確認、部屋割の確認、朝食確認、在庫確認、荷物運び、客室清掃、アメニティ補充、ベッドメイキング、電話対応の練習をさせていただきました。ロビーの清掃では、ロビー付近の人目につかないところまで清掃しました。本当に細かいところまで清掃をし、その大変さを知ると同時に綺麗なフロアを見て日々スタッフの方々が丁寧に清掃されているのだと実感しました。予約、部屋割、朝食、在庫確認では、パソコンや用紙を使用し行いました。沢山覚えることがあり大変でしたが、お客様への配慮が行き届いていて、素晴らしいと思いました。荷物運びでは、使用済みのタオルやシーツなどを回収して、指定された場所まで運びました。沢山ある上に重かったので、これを普段から少人数でやっていることを知り、凄いと思いました。客室清掃、アメニティ補充、ベッドメイキングでは、汚れをチェックして綺麗にしたり、タオルなどの備品を補充したり、ベッドのシーツや枕カバーを入れ替えたりしました。この活動は、お客様目線では見られないので、細かいところまで綺麗にしたりする大変さや快適な環境を提供するやりがいが一番実感しました。電話対応の練習では、スタッフの方の協力で電話対応の練習をしました。本番のようなアドリブもあり大変だと思いました。

この貴重な経験を活かして、将来の就職に繋がっていきたいと思います。とても楽しく、思い出に残る3日間でした。貴重な機会をいただきありがとうございました。

私は、今回のインターンシップを通してホテルで働くことの大変さややりがいを学びました。

初日の午前は、朝食確認や予約入力等のパソコンを使つての事務作業を主にさせていただきました。午後からの客室清掃では、部屋に落ちている髪の毛を拾ったり、お風呂場の濡れているところを拭いたり、お客様の気持ちになって考えることの大切さを知りました。

2日目の午前では、お茶出しを経験させていただきました。ホテルではお茶を出すときに「社長の前に座っている人からお茶を出すことと、しゃがんでお渡しすること」というマナーを教えてもらいました。緊張しましたが、ちゃんと出来ていたよと言ってもらえたので良かったです。また、アメニティ補充や在庫確認をしました。在庫確認では賞味期限が切れていないかの確認もしました。

3日目の午前、ベッドメイキング等の裏方作業をメインに教えていただきました。ベッドメイキングはとても足腰を使ったので疲れました。空室になっている部屋のシーツや枕カバーを交換しました。シーツや枕カバーの付け方が最初とても難しかったのですが、何回も優しく丁寧に教えていただきコツを掴めて楽しくやることができました。使い終わったシーツやタオルを入れる袋を持ち運ぶのが重くて大変でした。午後からは、電話対応練習をさせていただきました。「宿泊する日・泊数・人数・プラ

ン・喫煙状況・名前・電話番号・チェックイン時間」を聞くこと、素早くわかりやすいようにすることが大切だと教えてもらい、従業員のほうがお客様役をしてくださり練習しました。改善案をたくさん提示していただき、親切に指導してもらいました。また、料金表等を作ってくださったり、質問内容を変えてくださったりして、その度に改善案を提示してくれたので、とても身についたと思います。充実した、3日間でした。

〈株式会社鈴鹿ハンター〉

3日間のインターンシップではステップさんで体験をしました。ステップさんは朝に掃除をしますが、ハンガーラックの下や普段見ないところまで掃除をしていたことから、自分が思うよりも細かなところにも気を使わなければならないことを知りました。ステップさんでは、品出しや値付けなどの作業もありました。服のたたみ方まで決まっていました。お客様がきれいに畳まれた服を見て興味を持ってもらえることを目的にしているらしいです。

今回のインターンシップを通して、働く際にどのようなことを意識したらよいか、どのようなことを重視して将来の進路を選べば良いかを知るいい機会になりました。インターンシップを通して感じたこととして、一番印象に残ったことは、仕事に対する意識です。商品の陳列の仕方だけでもお客さんが興味を持っていただけのような工夫をし、些細なことも大事にする意識が大事なのだと私は感じました。もし就職した際は、そんな些細なことでも意識して行きたいと思いました。



〈株式会社一号館〉

私は、株式会社一号館エフマートサーキット通り店で職場体験をしました。社員の方2名が作業の指導してくれました。牛乳、菓子パン、アイスクリームなどの冷凍食品補充の作業をしました。商品を落とさないよう、注意しながらの作業だったので初めは緊張しました。アイスや冷凍食品の補充は、とても寒かったです。牛乳の補充はケースで運んだので重かったです。商品を段ボールから出すときにカッターを使ったので、少し怖かったです。値段のシールも貼らせてもらいました。商品の名前が見えにくくならないように、場所を選んで貼るのに苦労しました。お客さんの目の前でシールを貼る作業をしたので緊張しました。作業の内容を優しく教えてくれたので、とても分かりやすかったです。商品の補充が思ったより多かったで、とても忙しかったです。お店の中には色々な作業がある事を知りました。他の作業も経験してみたかったです。色々な体験ができて良かったです。



〈株式会社まるかつ〉

インターンシップを終えて、株式会社まるかつの皆様にご挨拶しています。職業体験のときに緊張がりましたが、まるかつの皆様があたたくお出迎えをしてくれたおかげで、緊張がほぐれました。まるかつの体験学習の一日目は、工場での体験でした。冷たい魚を触るので両手がとても冷たかったです。しかし、やりがいがあったためとても楽しかったです。二日目にはお店での袋詰めを体験できて嬉しかったです。最終日はレジでの体験でした。少し戸惑ったけど、うまくやれたと思います。株式会社まるかつの皆様、体にはお大事にしてください。マルカツの皆様はとても元気で、楽しそうに見えました。株式会社まるかつさんで貴重な体験ができて光栄です。まるかつでトラックに乗ったときとてもワクワクしました。こんなに貴重な体験ができてすごく嬉しいです。3日間すごくお世話になりました。

私のインターンシップ先は株式会社まるかつさんで、海産物加工と袋詰めと販売をしている会社です。主な職業体験は、店内での接客、レジサポートと小魚の袋詰め作業でした。店内でのレジサポートは、レジでお客様の商品を通した物を袋に入れる補助的な仕事をしました。店内にいますと、お客様から「ひじきはどこにありますか？」とか「この商品はどう調理したらいいですか？」と聞かれました。私は分からず「少しお待ちください」と言い、少し離れたところにいた店員さんに伝えに行きました。接客は、ただ店内に居るだけでなく商品のある場所、それと店内にあるすべての商品の調理方法も知っておき、お客様に美味しく食べてもらうように商品をおすすめしないといけないと思いました。また、お客様の入出店時に「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」のあいさつを言うタイミングが分からず戸惑って言えないときがありました。店員さんに「ありがとうございますと言うように」と言われました。小魚の袋詰め作業では、商品のシール貼りとお魚の袋詰めと軽量をしました。商品のシール貼りがいちばん楽しかったです。三日目には工場に行き、小魚の袋詰めのがれ作業をしました。他の店員さんと横に並んで小魚の袋詰めを手作業で流す仕事でした。同じ場所に立って、小魚の袋がどんどん流れてきて大変でした。

三日間のインターンシップを通して、いつも私は客としていろんなお店に何気なく行っていますが、今回お店側となり、接客の難しさを感じました。私が普段、気持ちよく買い物ができるのは店員さんの日々の努力があるからだと思いました。この経験を就職活動に活かしたいと思います。

僕は今回のインターンシップを通して、様々なことを学ばせていただきました。僕は部活動の都合上アルバイトができず、高校生ながら社会経験がありませんでした。そのため、このインターンシップは社会を学ぶための貴重な体験になったと思います。

株式会社まるかつ様ではお客様に大きな声で、心を込めて挨拶をすることをモットーにしているため、お客様へ大きな声での挨拶を中心に、従業員さんとの上下関係、店にお越しくださる人々と一緒に働く人たちへの礼儀を学ぶことができました。また、社会の一員になって後輩ができたり、新人さんが入ってきたりしたときには、僕達実習生がまるかつ様の従業員さんに接していただいたように、叱る・注意するときは厳しく、褒める・話すときは笑顔で接してられるようにしようという新しい目標もできました。

改めて、社会の一員になるために必要なものを学ぶ機会を作ってくださった株式会社まるかつ様・石薬師高校に感謝申し上げます。



〈株式会社ぎゅーとら〉

私は今回の職業体験で、スーパーの仕事を体験しました。ふだん何気なく買い物をしているスーパーですが、実際に働く立場になると、多くのことに気を配らなければならないことがわかりました。体験では、商品の陳列やかごの整理、店内の清掃、レジの見学など、さまざまな仕事をさせていただきました。とくに商品の陳列では、「見やすさ」や「取りやすさ」を意識して並べるのが大切だと教えてもらいました。お客様の立場にたって考えることが、スーパーの仕事ではとても大事なのだと実感しました。また、店員さんたちは常に笑顔でお客様に接していて、思いやりや丁寧さが求められる仕事だと感じました。忙しい中でも、どんなお客様にも親切に接する姿を見て、私も将来どんな仕事をするにしても、人への気づかいをたいせつにしたいと思いました。今回の体験を通して、スーパーで働く人たちの努力や工夫を知ることができ、買い物の見方も変わりました。そして、働くことの大変さとやりがいの両方を感じました。この貴重な体験をこれからの生活や将来の進路にいかしていきたいです。



〈株式会社オーヴァーホールディングス〉

バイクの知識だけではなく、人との関わりも学びました。働いている方たちが働きやすい雰囲気を作ってくれて、とても働きやすく感じました。緊張もすぐになくなり、とても居心地の良い場所だと感じました。1日目に体験したことは、エイプの100のキャブレター掃除をしました。教えてもらいながら自分で分解していき、やり遂げたという達成感がとても嬉しかったです。休憩では話しかけてくれたり、飲み物を奢ってくれたり、優しさや楽しさ、面白さがあり、素敵だと感じました。2日目はレベルアップして、キャブレターが1つから6つになり手こずったけど、細かく説明してくださったおかげでなんとか分解できました。配線を取るなど、いろいろな体験ができてとても楽しかったです。バッテリーはマイナスを外していたら安心だとおしえていただき、知識としても学びました。3日目はキャブレターの掃除をしました。汚れを落とすのにはいろいろな工程が大切で、一回だけではだめだということがわかりました。

インターンシップは初めてで緊張したけど、すごく貴重な体験をさせていただきました。すごく親切なスタッフに支えられ、すぐに馴染めてすぐに楽しむことができました。特に、自分でバイクのメンテナンスを行う機会があり、技術を学ぶだけではなく、バイクの構造や性能について深く理解することができました。特に、大型バイクの外装を外したりするときは、最初にしたバイクより重くて驚きました。大体の販売価格を聞いて、改めてすごい仕事をしているのだなと実感しました。

バイクにはたくさんの魅力があり、実際にバイクに乗ってバイクの楽しさを知りたいと思いました。この経験を通じて、将来的にはバイクに関係する仕事に携わりたいという思いが一層強まりました。従業員の方が乗っているバイクも売っているバイクも全部かっこよかったです。休憩のときにもアイスや飲み物もいただきありがとうございました。

〈株式会社 クスハラ自動車〉

1日目から遅刻をしてしまい、迷惑をかけてしまいました。1日目は、最初ダイハツの歴史を知りました。お客様の対応を教えてもらいました。笑顔であいさつをすること、気遣いをすることなど、お客様がいらっしゃったときに「また来たい」と思ってもらえるような対応をすることが大切だと感じました。それから、お昼ご飯を食べて、車のナンバーを付けることを体験しました。車についているオプション製品などのチェックを行いました。洗車をして、車に乗る体験をしました。車に乗っているときに、運転してくれている人から、オープンカーやスポーツカーの話を聞きました。違う種類の車にも乗ってみたいと思いました。2日目と3日目は、体調を崩してしまい、参加することができませんでした。色々な車のことを知れたり、色々な体験ができていたりして良かったです。ダイハツの大きい車に乗せてもらって面白かったです。将来、私は自動車に関係する仕事に就きたいと思っているので、貴重な体験ができて良かったです。

私は、今回のインターンシップを通して、自動車関係の仕事で働くことの大変さや厳しさを学びました。1日目の午前は座学をし、マツダの歴史を聞き、マツダは広島原爆のあとに貢献したと知りました。また、車1つひとつにとってもこだわって工夫していると知りました。午後には車の装備などの確認をしました。最後には試乗させていただきましたが、外の音がまったく聞こえず、ハンドルやペダルにも工夫されて、こだわっているなと思いました。2日目の午前では、車の車検・整備するところを見学、体験し、車のブレーキが正しくかかるか、ヘッドライトや指示器などが正しく作動するか、オイルの量など様々なことを細かく検査していました。午後の整備の時間では、実際の車のタイヤを見ていて、車のタイヤは自転車と同じような構造で、ブレーキの仕組み、空気の入れ方などほとんど同じでした。日本では、車は左側走行だから、反対から向かってくる車のことを考えて、車のライトが少し斜めになっていたと知りました。3日目の午前は、钣金・塗装作業を見学させていただきました。钣金作業では、車のへこんだ部分などを叩いたり、溶接したりしてなおし、叩いたあとはパテで表面を整え、下地塗装をしていました。午後からは塗装を見学し、車の色を作るのに専用のカメラを使い、手作業で色を組み合わせていることを知りました。修理などの見積もりを見させていただきました。すごく高かったけれど、40度近い中、1つ1つ手作業で、様々な道具・材料を使っていたので作業しているところを見ると納得してしまうと思いました。色々体験させていただき、自動車関係の仕事につく大変さや厳しさを知りました。このインターンシップを経験し、様々な知識を得て、貴重なことを学ぶ機会をいただき大変ありがたく思いました。

〈マックスバリュ東海株式会社〉

この3日間で色々な体験をさせていただきました。主な仕事内容はデイリー品出し、レジ打ちで、3日間体験しました。普段から買い物に行き、従業員さんが働いている様子を見ていましたが、常に動き回っているなと思っていたので、いざ自分が体験すると皆さんの気持ちが少し分かりました。今後、どこに就職するのかを考える参考になりました。品出しをするとき、賞味期限や在庫の残っていない商品を優先的に前の列に陳列することを意識しました。どの商品でも、賞味期限や値引きがされている商品はその当日中に売りたいけど、数に限りがあるのでそこも注意したいと思いました。左から順番に並べることも知りました。また、セルフレジを体験させてもらっているときに、その周辺で万引きが発生しま

した。しっかり監視していなかったのが原因だったので、もっと注意深く観察しようと思いました。自分が将来就きたい仕事について、しっかり向き合って生活したいです。

最初、事業所に行ってからはどうして良いかわからず戸惑いました。考えれば考えるほど頭が真っ白になりましたが、事業所の人達に、優しく声をかけていただきました。そのおかげで不安が和らぎ安心しました。仕事は普段私が見えている以上に短時間にたくさんすることがありました。商品の品出しをさせていただきましたが、時間がかかってしまいました。事業所の店員さん達は、時間がかかっている間に二個三個と次々に品出しをこなしていました。焦りを覚えて急ぎましたが、事業所の店員さんに、「焦らなくても大丈夫だよ」と言われ申し訳なくなりました。商品の品出し作業で特に苦勞したのが、消費期限が新しい方を後ろに回し、消費期限が近い方を前に置く作業です。一回全部出して置き直すという作業に慣れていなくて、消費期限の新しい方を前に置いてしまう事があったからです。午後はレジに回りました。レジには人があまり来ず、お客様を待っていました。少し気を抜くとお客様いらっしゃるので気を抜けませんでした。ずっと立っていたので大変でしたが、とても有意義でした。



〈スーパーサンシ株式会社〉

今回のスーパーサンシ株式会社でインターンシップを3日間させていただいて、一番印象に残ったのは、品出しとお客様からの商品の場所の聞かれたときの対応です。3日間で一番大変だったのが、お客様からの商品の場所を聞かれたときの対応です。その理由は、お客様に聞かれたときにすぐに答えられるようにするには、スーパーサンシの端から端まで商品名や場所などを正確に覚えないと行けないためこの3日間で一番苦勞しました。前出しは、各商品のコツがあるため大変でした。特にカップラーメンの前出しが大変でした。お客様が見やすいように選びやすいように商品名が見えるように工夫しながら前出しをしたことです。今後の将来は、飲食業や販売業・営業などを基本的に考えていきたいと思えます。今のバイトが飲食業でとても楽しいと思うし、今後飲食業に出来れば就きたいなと思っております。より勉強に励み、より良い飲食業に就けるように努力して、残りの1年半頑張りたいと思えます。

3日間のインターンシップを通しての感想としては、1日目は事務作業の途中でお客から「カレーのルーはどこ？」と聞かれたのですが、うまくご説明することができずに、接客の難しさを感じました。

2日目の午前には牛乳・乳製品の陳列をするときに日付の早いものを前方へ配置し日付の遅いものを後ろへ配置するということを教えてもらいました。なぜ日付の早いものを陳列するのかというと、商品のロスを防止するという観点からです。午後は、ヤクルトの補充をしていた時に手から1パック滑ってしまい1つのヤクルトを無駄にしてしまいました。すぐに、企業の方にはご説明をして謝罪しました。

3日目の内容としては、1日目と同じ内容で2日目のようなミスはしませんでした。社会に出てからは、このインターンシップで身につけた知識を活かして行きます。



最後に、僕はこの3日間の体験学習（インターシップ）を通して品出し、前出しの両方を経験して、難しい所はあるけれどもお客様と接し、挨拶をするという一つの礼儀を大切にすることは大事だと思いました。この3日間のインターシップは難しい所はあるが、やりがいがあると感じました。3日間ありがとうございました！

〈鈴鹿森林組合〉

一日目は森林整備作業場見学、森林調査、測量、選木作業実習を行いました。作業を行う前に、安全確認を行い、起こり得る事故について確認しました。事故を減らすためには、事故の予測などが大切だと感じました。選木作業では、様々な条件を踏まえて、これから期待できる木を残すために切る木をマーキングしました。この作業もこの木をもし切ったら周りの木がどのようになるのか予想しながら選ぶことに気をつけました。チェーンソー体験実習では様々な切り方を教えてもらい、伐採する木の状態を確認し、チェーンソーの刃と身体の向きなど様々なことに気を使い、安全に使えるように気をつけました。チェーンソー作業は山の斜面に対して体をどのように構えるか難しかったです。最終日に行った、受け口、追い口を作る作業では木の何分の一にするか考えながら行い、このように切りたいと思っても思うように切れずとても技術が必要になる仕事だと思いました。身の回りの割り箸、机、家などに使われる木がどの木か、どの種類の木かなどを気にかけてみようと思いました。



〈鈴鹿市立牧田保育所〉

普段小さい子たちとかかわる機会ほとんどなく、あったとしても1人を相手するくらいで、たくさんの子たちと一度に関わる事ができないので、すごく良い体験ができたなと思いました。元々小さい子たちと遊んだり話したり関わる事が好きで、保育士も良いなと思っていただけど、拘束時間が長く大変だというイメージがありました。しかし、インターンシップを通じて保育士という仕事の魅力を知り、子どもたちがすごく素直で可愛かったのも、保育士として働いてみたいなと思いました。インターンシップ前は、看護6製菓3保育士1だったけれど、インターンシップを終えて、看護4製菓2保育士4の割合になったので、夏休みにオープンキャンパスへ参加し、話を聞いたり実際に体験したりして、自分が一番何をやりたいのかと自分に向いているか、ずっと続けていける仕事なのかを考えて、将来につなげたいと思いました。

初日は上手く幼児と交流が出来るか不安でしたが、組に入ったところで一人また一人と話しかけてくれて、会話や遊びきっかけにもなったので有り難かったです。最初の水遊びでは、年組を問わず様々な子が水遊びに誘ってくれて大変嬉しかったです。服を着替えブロックや粘土、パズルなどの遊びも誘われ、粘土に関しては得意でしたので様々な物を作ってあげられて良かったです。何よりカッコイイや凄

いと言ってくれたことに感激でした。また、ブロックでは船やバイクなど満足してもらえる物を制作出来て良かったです。

お昼寝の時間には元気がある子もいればぐっすりと寝る子もあり、個人差がここまでもあるのだと思いました、摩ってあげたりすると安心なのか良く眠れるのか寝てくれてホッとしました。

誕生日会や行事なども参加させていただき、楽しい時間を一緒に過ごせて大変嬉しかったです。避難訓練でも先生の指示を静かに聞き大人しく行動をしていたので自分達で訓練の重要性を理解しているのかと思いました。貴重な時間を割いてくださり、ありがとうございました。

自分のインターシップの体験場所は、保育園でした。その保育園の中で自分が担当したのは2歳児でした。まず、小さい子供と触れ合った経験がなく、どう接するのが正解なのかも分からなくて、最初の1日目はずっと子どもたちの近くで座りっぱなしでした。子供と関わることも少なく保育士の先生をずっと見ていました。その先生が子供と話をしながら遊ぶ姿を見ている時、子供はとっても笑顔でした。私も3日間子供を笑顔にさせたいと思い、この3日間の目標を「子どもたちを全力で笑顔にさせること」にしました。しかし、子供たちを笑顔にすることは難しく、私はとても人見知りなので、自分から声をかけるだけでもとても緊張するけど、残り2日はとても頑張りました。まず子供が好きなおもちゃごとや読み聞かせをし、自分なりに工夫しました。すると、どんどん子供たちにうちに笑顔がでてきてハッピーな気持ちになりました。

この3日間を通して、子供との接し方について理解することができました。子供の好きな遊びや物を一緒に共有し、距離を縮めることで、子供たちと仲良くなると思いました。次に、保育士の先生を見ていてかっこいいと思った部分が、自然に子供たちを笑顔にさせていたことです。一人ひとりの子供たちが笑顔で、先生の一言や行動を見て笑っており、私もこんな一人ひとりの子供たちを笑顔にさせる保育士になりたいと思いました。この3日間で、子供との接し方について知ることができ、保育士さんの仕事の様子も見学できて、とても良い3日間だと思いました。



〈鈴鹿市立西条保育所〉

1日目は、みんな緊張していてぎこちなくて、私から話しかけないとあまり話しかけてくれなかったり、近寄ってくれたりしなかったけど、途中からだんだん慣れてきて、話しかけてきてくれるようになり、うれしかった。1日目は水遊び、歌、給食、おひるね、おやつ補助をした。水遊びは水鉄砲と一緒に遊んだのが楽しかった。歌は、何の曲かはあまりわからなかったけど、子どもたちがみんな全力で大きな声で歌っていて可愛かった。3、4曲くらい歌ったけど、みんなちゃんと全部歌詞を覚えていてすごいと思った。2日目は、お誕生日会と、シャワー、給食、おひるね、おやつ補助をした。隣の3歳児クラスと合同で一緒にお誕生日会をして、先生が紙芝居をしていて、自分もできるようになりたいと思った。1日目のときに1回しか私の名前を言ってなかったのに、みんなちゃんと覚えてくれて嬉しかったし可愛かった。おひるねのとき寝かしつけるのがちょっと難しかったけど、楽しかった。3日目ではみんなよってきてくれて、いっぱいお話をしてくれた。3日間楽しかった。保育士になりたいと思った。

〈鈴鹿市立深伊沢保育所〉

保育士には体力とコミュニケーション力がいることを知りました。私が一番大変だと感じたことは、2、3歳の相手をしたときに何を伝えようとしているのかを理解するのが難しくて、2回ほど言われたら「あ！そうゆうこと！」と理解できて必死に伝えようとしているところが可愛かったです。5歳の子は基本自分のことは自分でして、困ると「助けてほしい」と言ったりしていて、大きくなって来るとすごいなと感じました。私が行った保育園の子達は小さくても自分でできる子が多くて、小さくても大きくても保育園児なのにすごいと思いました。私はコミュニケーションには自身がなく、人見知りをするタイプなのであまりスラスラ話せなかったかもしれませんが、3日間貴重な体験をできたことが良かったです。私はこの職業体験の実習で保育士さんがどんなに大変で体力いることがわかることができて良かったです。園児の子たちと絵本やブロック、あやとりができて懐かしさを感じつつ、園児の子たちも楽しそうだったし、自分自身も楽しくできてよかったです。お忙しい中3日間ありがとうございました。

〈鈴鹿市立算所保育所〉

インターシップ1日目は、2歳のクラスに入り2歳の子どもたちと遊びました。2歳は9時30分と15時におやつがあることを初めて知りました。お昼寝のときになかなか寝てくれなくて苦労しました。先生たちも寝かすのにも大変なんだと気づきました。

2日目は4歳のクラスに入り、手を引っ張られたり遊びに誘われたり一緒に遊んだり色々大変でした。だけど、4歳の子たちは元気いっぱい、水遊びをしたりブロックで遊んだりおままごとをして遊び、楽しかったです。4歳のクラスもお昼寝があり、初めて3人の子供たちを寝かせられました。その時は言葉にならないくらい嬉しかったです。

最終日は、5歳のクラスに入りました。5歳のクラスに入った瞬間すごい勢いで5歳の子たちがいっぱいよってきてびっくりしました。5歳の子どもたちから抱っこしてと言われたりおんぶしてと言われたりして初めて言われてびっくりしました。5歳の子どもたちも夏の間はお昼寝があることをこのインターシップで初めて知ることができました。たくさん遊べて楽しかったです。

この少ない3日間のインターシップで保育園のことの先生たちの苦労や子供たちの接し方、子どもたちが寝たあとの先生たちの過ごし方などを知ることができました。楽しかった3日間でした。



〈鈴鹿市立玉垣保育所〉

自分には妹がいて、妹は将来保育園の先生になりたいと言っていました。僕もその影響で保育士の仕事に興味をもち、玉垣保育所さんを選びました。保育所で子どもたちがどんなことをしたりしているのか気になって楽しみでしたが、いざ当日になると子どもたちに何を話せばいいのか、今の子どもには何が流行っているのか何もかもがわからなくて困っていました。しかし、子どもたちの方から「お兄さんの名前なに？」や「レゴで遊ぼう」など誘ってもらえたりして不安が一気に消えました。子どもたちと遊

んでいるとすごく癒やされて純粋に楽しむことができました。1日目は緊張して話しかけてこなかった子も2日目にはくっついてきたり手を握ったり話しかけてくれたりしました。本当に楽しくて3日間だけなのがすごく悲しかったです。まだちゃんと話していない子もいたのもう少し居たかったなと思いました。こういう仕事は自分には向いていないと思っていましたが自分でもびっくりするくらい楽しかったです。ありがとうございました。

〈鈴鹿市立河曲保育所〉

インターシップを終えてみて、初日は初対面だから園児たちにこの人誰だろうと顔をされたけど、積極的に話しかけてくれる子がいたので嬉しかったです。園児と遊ぶときにジャンプしたり、乗っかってきたりする子がいたのでこけて怪我をしないかハラハラしました。一緒に遊んでいるうちにいろんな性格をした子がいて、その子に合った関わり方をするのが難しかったけど、遊んでいるといろんな子が話しかけてくれました。二日目は避難訓練があり、先生が指示したときに園児たちがしっかり話を聞いて行動していてびっくりしました。他クラスの子とも遊びました。三日目は中でアスレチックをしました。怪我をしないか心配だったけど、みんな上手にできていました。初日と比べて話しかけてくれる子や笑顔を見せてくれる子が増えて嬉しかったです。園児同士で喧嘩をしたときや揉め事したときにどう対応するのか考えるのがすごく難しかったけど、保育士の仕事の大変さを知れてすごく勉強になりました。

最初は、自分にはできるのかとか不安だらけでとても緊張していました。だけど、子どもたちの方から自分に話しかけてくれてとても関わりやすかったし、なにをするのかわからないときに子どもたちから「～するんだよ」などと教えてもらい、不安などが2～3日目の間に消えていき子どもたちとより関わりを持てたと思いました。それと保育所の仕事はやってみると、思っていた以上に大変でした。例えば、「こっちにきてよ」と複数人に言われたときにどっちに行けばいいのかわからない時とか、水遊びの時間に自分が担当していた組は、プールには入ってはいけないうちに一人の子が入っていて、自分は周りを見ていたのにいつの間にかプールに入っていることに気づいていなかったけど先生たちはすぐに気づいてプールからその子をあげ、周りをちゃんと見られていてすごいなと実感できました。このインターシップを通してとてもいい経験ができたのではないかと思います。

私は、河曲保育所にインターシップでいきました。初めてこのような体験をしたので、何をしたらいいのか全く分からなかったけど、担当の先生が丁寧に教えてくださったので、頑張っていける！と自信ができました。私の担当するお部屋は、きりん組の4歳から5歳の担当でした。お部屋に入った瞬間、楽しい笑い声が聞こえてきて、とても入りやすかったですし、子供たちが話しかけてくれて嬉しかったです。1日目からとてもいい入りができ、あと2日がとても楽しみで仕方がありませんでした。2日目もお部屋に入った瞬間名前を呼んでもらえて、「え！覚えてくれている！」とすごく嬉しく思いました。私は、人の前に立つことがあまり好きじゃなかったのですが、先生からすすめられ、読み聞かせをする事になって、緊張が勝ってしまっ、読んでいるかわからなかったのですが、子供たちが読んでいる間に、〇〇だ！と言ってくれて一緒に楽しんでくれているのが楽しくなりました。3日目も読み聞かせをしたのですが、先生に、褒め言葉をいただき、嬉しくなりました。この3日間、一人



一人違う個性を持っていて、関わるのがすごく楽しくなりました。先生とも子供たちとも、沢山関わり、話ができて、とても貴重な時間と感じました。

〈白鳩保育園〉

今回、職場体験をさせていただいてとても自分の将来のことをより考えるようになりました。

施設の様子を見て、こどもの安全ために壁の角がなかったり、勝手にドアを開けて出ていけないように子供が届かない上の位置に鍵がついていたり、洗い場などの前に線や印、マークのシールが床に2歳の子供たちにわかりやすく貼ってありました。2歳の子供たちはまだ字が読めないので一人ひとりに、名前のマーク、例えばカエルや星、イルカなどのシールを子供たちのロッカーなどに貼ってありました。保育士さんは、子供たちにだめなことはだめ！褒めるときは褒める！ってことをしていました。そして子供たちに対しての言葉づかいがとても上手くて、そういう言葉遣いは保育士の先生として大切だと感じました。私は、はじめは話すことも難しくてどうやって話しかけようと思ったときに、先生たちが優しいことばを使っているうちにわかってきて、3日目には上手に会話が自然にできました。とても可愛くて癒やされまくりでした。しんどい、疲れたよりも可愛いが勝って幸せな空間でした。私は保育士さんになりたいと思っています。初めて体験して、よりなりたい気持ちが高まりました。保育士さんは、子供たちを「預かる」という重要な仕事です。健康や安全を守るために配慮が大切なのだなと感じました。とても楽しかったです！！

1日目、3歳の子どもたち担当で、なにを言っているのか聞き取るのがとても難しかったです。ダンスをみんなに教えました。楽しそうに踊っていてとても楽しかったです。お昼寝の間に、みんなが工作で使う用の画用紙を切ったりしました。1日目から懐いてくれて、とても嬉しかったです。2日目、朝ドアを開けた瞬間に駆け寄ってきてくれて、とてもかわいかったです。みんなでプールに入りました。ホースで水をかけたりしました。絵本の読み聞かせをしました。ページをめくるタイミングが難しかったです。3日目、避難訓練がありました。一緒に避難して、みんな走らずゆっくり歩いてとても上手でした。最終日だったので、先生に色々な話を聞いて、進路の相談にも乗ってもらいました。園によって面接、筆記が異なるということがわかりました。子どもたちとの関わり方も上手で、絶対に保育士になれるよ、と褒めてもらいました。全体を通して、3歳の子に対しても結構な力で怒るのだなと思いました。子どもたちの足を踏んじょうと怖かったので体育館シューズを脱いだら、「そんなとこ気づけて感動した。」と言ってくれました。絶対に保育士になろうと心から思いました。

インターシップを通して、子どもたちと関わる楽しさや難しさを実感しました。最初はうまく接することができるか不安でしたが、笑顔で話しかけたり一緒に遊んだりするうちに、少しずつ心を開いてくれるようになり、嬉しかったです。先生の子どもへの声掛けや接し方を見て、保育士としての言葉選びや対応の大切さを学びました。実習を通して、自分にとって貴重な体験になりました。子どもたちがプールをしている姿を見て、先生の指示を聞いてがんばっている様子を見ることができました。1日目は何もかも不安でしたが、先生の指示を聞いて動き、朝から子どもたちと懐かしい遊びを楽しむことができました。子どもたちが喧嘩している姿を見て「先生〇



〇くんがー」とかゆってくれる子が多かったですが、止められなかったのに泣いている子がたくさんいました。なぜ喧嘩しているのかもっと理解したいと思いました。2日目は、お昼前から数字のワークをしていて、先生が前に立つとみんなが一斉に座ってワークをしていました。その様子を見て4歳とは思えない行動の速さに驚きました。3日目は、午後にピアノ力をしている姿を見て感動しました。

3日間を通して、子どもだからといってお世話をしすぎるのではなく、自分のできることは自分でさせることで、子どもはこんなに成長するんだなと思いました。

〈椿大神社〉

インターンシップで職業体験をしてみて思ったことは、人と関わるのはとても楽しいということです。仕事を教えてくださった巫女さんや神主さんたちから聞く神社の話はどれも聞いたことがない話ばかりで、聞いていてとても興味が湧きました。インターンシップが始まるまではちゃんと仕事ができるか心配だったけど、巫女さんや神主さん、そして担当者の方々は優しく、仕事を丁寧に教えてくださったので、最後まで楽しく仕事を体験することができました。巫女さんの袴を着させていただいてからは仕事を体験するのがとても楽しみになったことを覚えています。1日目の朝礼の大祓詞は息が続かなかったり、正座をし続けるのが辛くて足を崩してしまったり、背中が曲がっていたりしたけど、2日目、3日目になってくるとだんだん慣れてきて、しっかり背筋をのばして朝礼や仕事ができるようになり、続けていくことの大切さがわかりました。椿大神社の皆様と神社の体験ができたことを、これからの進路学習に活かされるようにしたいと思います。

今回のインターンシップ体験をさせていただいて、改めて社会の大変さや礼儀を知ることができたと感じました。椿大神社にインターンシップ場所として行かせていただいたのですが、山奥にある場所で木が生い茂っているので涼しいのかと思っていましたが、風が吹いていなかったらとても暑くて大変な場所なのだと思います。その場所にいつも仕事に行っている椿大神社の皆様はすごいと感じました。最初にお祓いをしていただいたのですが、太鼓と詞の迫力がすごくて3日間圧倒されていました。お仕事をさせていただいている時にも、太鼓の音が聞こえてきて一日に何度もされているのだと知り感心していました。巫女常衣を着させていただいたのですが、着方が最初は分からなかったのですが、着替えを手伝ってくださった方達皆さん分かりやすく教えてくださったので、自分で着替える事もできて、着替えている時も楽しかったです。お守りの事のお仕事をさせていただいているときに、参拝者の方達とお話をされている言葉を聞いて、他の事業所とは言い方が特殊なお言葉を使われるので、聞いていて新鮮な感覚でした。3日間インターンシップで行かせていただいて、あまり体験することができない事業所だったと思うので、貴重な体験をさせていただけたと思っています。社会の事を良く知ることができて良かったと思います。

1日目は、建物の出入り口前の授与所でお守りをきれいに並べたり、通る人達に挨拶したりしました。午後には椿大神社の案内や紹介をしてもらいました。椿大神社にはさまざまな神様が祀られていることを知りました。2日目は外の授与所で手伝いをしました。プラスチックに横長の袋に椿大神社の住所のシールを貼る作業や、塩袋を平らにするのを手作業でやりました。午後は椿大神社の舞を見せてもらいました。3日目は、もう一つ大きい授与所で御札を袋の真ん中に入れる作業を手作業でしました。椿大神社に来られる人たちは、子供からお年寄りまで色々な人が来ていました。お守りを買いに来ただ

けの人もいれば、お参りだけをする人もいました。おみくじをしている人もいました。持って帰る人もいれば紐に結びつけている人も多くいました。本当に多くの人がお守り、御札、おみくじ、お参りなどをしに来ていました。巫女さんが舞を踊るときに頭につける飾りもつけさせてもらいましたが、舞を踊ることは本当に難しいのだなと思いました。

僕がインターンシップで学んだことは、人しっかりと挨拶をすることです。最初は緊張で小さな声でしか挨拶ができなかったけど、3日間を通して慣れてきて、最後は大きな声で挨拶ができるようになりました。椿神社の方たちはみんな優しく、仕事を丁寧に教えて頂いたおかげでだんだん作業が早くなってきたのがわかりました。特に印象に残っているのは、ガンのお守りを束にする仕事です。最初は紙を巻くのがゆるくて取れてきてしまったりしたけど、慣れてくるとちゃんと束にできるようになってきて、とても楽しかったです。僕は袴を着ることが初めてだったのでとても新鮮でした。僕は朝礼の正座がとても辛くて何回か足を崩してしまったりしたけど、椿神社の皆さんは正座を崩すことなく背筋まで伸ばしていてとてもすごいと感じていました。アルバイトと対応の違いがあったけど、いつもやっていないことができると思うととてもワクワクしました。今回のインターンシップを活かして進路を考えたいと思いました。

〈竹野の森こども園（社会福祉法人 愛児の会）〉

今回の3日間のインターンシップに行つての感想文で、まず私は、鈴鹿市竹野町の竹野の森こども園という事業所に行きました。ここは第一希望で行けたのがまず感謝で、1日目は2才児をもたせてもらいました。2才児は特に自由な子が多く、何を入っているかあまりわかりませんでした。朝の会を25分程度して、歌を3、4曲歌いました。そのあと、すべての子をトイレに行かせ、おむつの取り替えを手伝いました。思っていたよりも難しかったです。そのあと、絵の具を使ってかき氷と一緒に書きました。手がとても汚れました。それで、制作のあとはブロックで児童と遊び、そのあと片付けて給食の手伝いをしました。11時40分頃には食べ始めましたが、少なそうに思いました。次に、児童を寝かせてからてびきを書き、最後にはおかしを食べて1日目が終わりました。2日目は3才児でしたが、本当に3才児はなんにも言うことがないくらいしっかり自分のことができていました。3日目は0才児で、朝行ってから帰りまでずっと一緒に遊んだので楽しかったけど、寝かしつけはできませんでした。

竹野の森こども園インターンシップの経験は、非常に貴重で学びの多いものでした。

最初は子どもとのコミュニケーションが不安でしたが、親しみやすい先生方たちのサポートのおかげで、次第にリラックスして接することができました。子どもたちの自由な発想や純粋な反応に触れることで、教育の重要性を感じられました。また、遊びを通じた学びの大切さを実感しました。

3日間を通して、0～3歳を担当させてもらって、歳が上がることでできることが大幅に変わっていて、すごいなと感心しました。おむつなしで生活している子や、自分でトイレに行っている子がいて、歳が上がっていくにつれて、自立している子が増えていてこんなに関わり方が変わるのだと思いました。成長を感じることができ、楽しみながら3日間の実習に取り組むことができました。私も、実習を通して頼もしい保



育士になりたいと思いました。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。また、お会いしたいです！

子どもたちと関わってみて、まだ言葉もわからなくて喋ることができない園児や泣いている園児もいてどう接したらよいかわからなくて難しかった時もありました。最初は不安もあったけど、笑顔で話しかけてくれたり、手を繋いでくれたりした子どもたちがたくさんいてうれしかったです。遊びやお昼ごはん、お昼寝、おやつの時間など、先生たちは一人ひとりの様子をしっかり見ながら働いていて、その大変さを知ることができたけど、やりがいも感じられました。

1日目の3歳児では、うまく話すことができる子が多く、友だち同士で会話をしていたり、自分が思っていることを伝えたりして成長を感じられました。2日目の0,1歳では、泣いている子が多くどう接したらよいか難しかったです。遊んだりしているときに泣かれるか心配だったけど、笑顔でこっちに来てくれたり、手を伸ばしてくれたりしてうれしかったです。3日目の2歳児では、まだ言葉もはっきりしていないので気持ちを読み取るのが難しかったけど、表情や仕草などを見ながら気持ちを読み取りました。泣いている子を優しくあやす姿を見て、自分もそんな風に関われたらいいなと思いました。

1日目は3歳の子どもたちと遊びました。しっぽとりや色バスケットをしました。初日ということもあり、子どもたちとの関わり方が難しかったけど、子どもたちがいっぱい話しかけてくれました。2日目は0歳の子供たちでした。おむつ替えやミルク、給食の介助をしました。全部初めてだったのでとても難しかったです。手をつないで走り回ったり、おもちゃで遊んだりしてとても楽しかったです。3日目は2歳の子供たちと遊びました。運動をしたり、製作をしたりしました。運動も製作も子どもたちみんなが楽しそうに遊んでいました。製作など難しいことでも最後まで諦めずにしていてすごいなと思いました。先生方も子どもたちに「自分のことは自分です」ということを学ばせていてすごいなと思いました。子どもたちとたくさん遊ばせてもらって、正直話していることがわからなかったり、何をしたいかわからなかったりすることもあったけど、笑顔で話しかけてくれたので、自分も子どもたちの気持ちをなるべく読み取れるように頑張りました。笑顔や寝顔がとてもかわいくて癒やされました。

この3日間を通して、子どもたちとの関わり方や先生との接し方を学びました。竹野の森こども園で体験学習ができて、本当に帰りたくないくらい楽しかったです。

はじめは子供たちにうまく接することができるかととても不安でした。ですが、子供たちが積極的に話しかけてくれたので、リラックスして実習をすることができました。1日目は幼児の生活リズムの流れを知ることができました。2日目は3歳児のクラスだったので、コミュニケーションを取れる子がほとんどだったように感じました。友達と揉め事があっても、ちゃんとどこが嫌だったのかどうしてほしかったのかななどを言葉にして伝えていたので、3歳児のコミュニケーション能力の発達を間近に見ることができ、とてもいい経験になりました。3日目は0歳児のクラスで、また自分でコミュニケーションを取れないクラスだったので、よく見ていないと何が起こったかわからなくなってしまうため観察力が必要になってくるのだなと思いました。私は普段幼児と関わるのがほとんどないので、このような形で幼児と関わらせていただけたことは私自身すごくいい経験になりましたし、将来の職業選択の幅が広がりました。



インターンシップを通して、自分が小さいころは、先生の仕事はかわいい子どもと遊ぶだけで楽しうだと思っていたけど、高校生になって実際に体験してみると、例えば0歳を担当するとご飯を食べる事や着替えることなど全てのことをしてあげないといけないので、先生の仕事は楽しいばかりではなく難しいことや大変なことも多いのだなとおもいました。3日間しか体験していないから、今は楽しいだけの感情で職場体験をする事ができたけど、毎日になると楽しい以外の感情もでてくるのかなと思いました。竹野の森こども園の先生たちは凄くフレンドリーな方が多く、ここで働いたら楽しそうだなと思いました。0歳2歳3歳の先生を体験して、大変なのは0歳だけど、1番体力を使うのは3歳だなと思いました。保育園や保育所、幼稚園では仕事内容にどんな違いがあるのかも気になったので、他の幼稚園はどんな仕事があるのかも知りたいなと思いました。

竹野の森こども園は学童アルバイトもしていると聞き、今回は保育園の先生を3日間体験したので、学童のアルバイトをし、小学生のお世話をする体験もしたいなと思いました。

〈自衛隊三重地方協力本部〉

一日目、自衛隊の説明をたくさん聞きました。自分や他の人が思っていた仕事内容でなくとても驚きました。例えば、毎日朝から晩までずっと訓練をしていると思っていたという人が多くいたかもしれませんが、話を聞いていたらそんなことなく自分が思っていた以上にホワイトでした。基本教訓やコンパスなどの体験もさせていただきました。

二日目、午前一日目に予習したコンパスを実際に訓練しました。場所は三重県の久居駐屯地でさせていただきました。コンパスを使うのは簡単に見えて難しかったです。お昼は駐屯地のご飯をいただき、とても良かったです。午後は自衛隊で使うロープの結び方を学びました。日常でも使うことがありそうで学べて良かったです。

三日目、愛知県の小牧基地に行きました。ここは航空自衛隊でしたが、今まで見たことなった戦闘機の飛行を見ました。あと、コックピットの搭乗をしました。基地の見学もしました。小牧では、ドラマ撮影を最近までやっていて、その裏話などを聞きました。基地の消防にもお邪魔させていただきました。お昼ご飯はとてもおいしかったです。

まず1日目は、午前、基本教練という自衛隊の基礎的な動作を学びました。午後は、自衛隊が主にこういった業務をしているのか、収入や、得ることができる資格や、免許などを学びました。集団行動が学校とは少し違うので難しかったです。

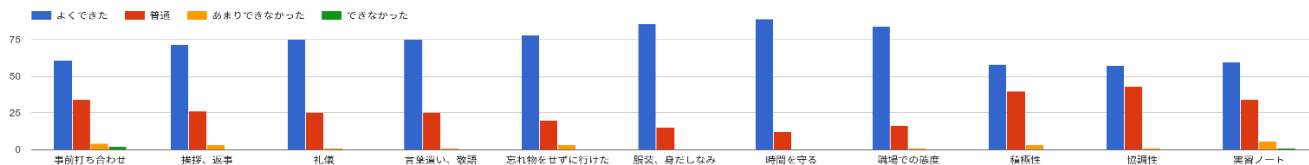
2日目は、午前、コンパスワークをしました。コンパスを使って目標まで歩くというものです。少しでもずれてしまうと、ズレが大きくなってしまいうので難しかったです。午後は、ロープを使った様々な結び方を学びました。普段から使う結び方やほどけにくい結び方などを学びました。コンパスワークが意外と上手く行ったので良かったです。

3日目は、小牧基地で見学をしました。午前は、航空自衛隊がどのような組織なのかについて学びました。午後は基地内の見学や基地内にある消防車の放水を見ることができました。輸送機の中も見ることができ、コックピットの中も入ることができました。たまたまF35やF15といった戦闘機を間近で見ることができました。とても貴重な体験がたくさん出来たので良かったです。

生徒アンケート集計

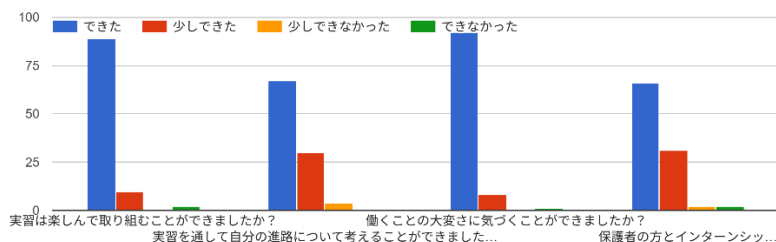
◆ インターンシップを終えて自分の成績をつけるとしたら、どのようになりますか。(人数)

	よくできた	普通	あまりできなかった	できなかった
事前打ち合わせ	61	34	4	2
挨拶、返事	72	26	3	0
礼儀	75	25	1	0
言葉遣い、敬語	75	25	1	0
服装、身だしなみ	86	15	0	0
時間を守る	89	12	0	0
職場での態度	84	16	1	0
積極性	58	40	3	0
協調性	57	43	1	0
実習ノート	60	34	6	1



◆ 実習はどうでしたか。(人数)

		できた	少しできた	少しできなかった	できなかった
①	実習は楽しんで取り組むことができましたか	89	10	0	2
②	実習を通して自分の進路について考えることができましたか	67	30	4	0
③	働くことの大変さについて気づくことができましたか	92	8	0	1
④	保護者の方とインターンシップのこと (実習先や仕事のこと) について話合うことができましたか	66	31	2	2



◆ 実習はどうでしたか。(人数)

		思う	どちらかとい えば思う	悩んでいる	どちらかといえ ば思わない	思わない
①	将来地元の事業所に就職したいと思いますか	41	32	14	11	3
②	今回体験した職種に就職したいと思いますか	37	25	19	15	5
③	インターンシップ体験をもう一度してみたいと思いますか	40	36	14	7	4

